

海老名市政アンケート調査



海老名市イメージキャラクター えび~にゃ

〈平成25年度〉

海老名市

はじめに

近年、社会情勢が大きく変化し、市民の皆様の行政に対するニーズも多様化している中で、地方自治体にはこうした変化に的確に対応するための行財政体制の整備・確立が課題となっております。

また、地方分権や市町村合併などが進展するとともに将来的な人口の減少が明らかになっている中、地方自治体には都市間競争を勝ち抜くことができる戦略的なまちづくりが必要とされております。

こうした中で、市政に対する市民意識の傾向を把握するとともに、市民の意見・要望を的確にとらえて、市の実施計画や施策事業に反映させるため、定期的に「市政アンケート調査」を実施しております。

この報告書は、本年5月、18歳以上の市民の中から等間隔単純無作為方式で抽出した2,000人の方に調査協力をお願いし、回答いただいた結果を分析したものです。

今回の調査では、前回調査した「定住性・生活環境」、「防火・防災」、「広報・情報化」、「海老名の魅力」、「健康・スポーツ」、「環境・資源対策」などに関する項目のほか、「総合計画」、「空き家問題」などの新しいテーマを加えて実施いたしました。

調査結果につきましては、市政を進めていくための基礎資料として活用させていただきます。

今回の調査に当たりまして、ご協力いただきました市民の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、今後も市政に対する一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成25年9月

海老名市長 内野 優

目 次

I. 調査の概要	1
II. 調査票・単純集計結果	
1. 調査票と単純集計結果	3
III. 調査結果の分析	
1. 調査回答者の特性	18
2. 定住性・生活環境	
(1) 居住年数	21
(2) 定住意向・転出意向	22
(3) 市内に住みたい理由	23
(4) 市外に移りたい理由	24
(5) 生活環境と施策の満足度	25
3. 総合計画	
(1) 今後さらに充実すべき施策について	28
4. 海老名の魅力	
(1) 海老名の魅力を感じるどころ	29
5. 広報・情報化	
(1) 市から発信される情報の情報源	30
(2) 市の広報媒体の満足度	31
(3) 市の広報媒体で掲載してほしい内容	32
(4) インターネットの利用状況	33
(5) インターネットの利用端末の種類	34
(6) 携帯電話等での市の講座等の参加申し込み・安全安心メールの認知度	34
(7) 携帯電話サービスの利用状況について	
6. 防火・防災	
(1) 大規模災害において不安に感じる事	35
(2) 災害への備えについて	36
(3) 防災訓練への参加について	37
(4) 「海老名市防災マップ」で知りたい情報	38
(5) 消防団の認知度	39
(6) 消防団への協力（入団）について	39
(7) 消防団員の減少原因について	40
7. 空き家問題	
(1) 空き家問題について	41
8. 健康・スポーツ	
(1) 健康維持について	42
(2) 運動頻度について	43

9. イベント	
(1) 参加したいイベントについて	44
10. まちづくり	
(1) まちづくりに期待すること	45
11. 環境・資源対策	
(1) 環境にやさしい生活の取り組みについて	46
(2) 電気自動車の購入について	47
(3) 電気自動車を購入したくない理由	48
(4) ごみの減量化やリサイクルについて	49
(5) ごみ減量化・資源化の今後の取り組みについて	50
IV. 集計結果	
1. 「その他」回答内容	51
2. 問6～問19までの単純集計及びクロス集計表	73

I . 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市政に対する市民意識の傾向を把握し、多様化している市民の意見・要望などを調査分析することにより、今後の政策形成の基礎資料とするために、2年に1回実施しております。併せて、市政への直接的な市民参加を促進するものです。

2. 調査の内容

- | | |
|--------------|--------------|
| (1) 定住性・生活環境 | (6) 空き家問題 |
| (2) 総合計画 | (7) 健康・スポーツ |
| (3) 海老名の魅力 | (8) イベント |
| (4) 広報・情報化 | (9) まちづくり |
| (5) 防火・防災 | (10) 環境・資源対策 |

3. 調査の設計

- | | |
|----------|--------------------------|
| (1) 調査地域 | : 海老名市全域 |
| (2) 調査対象 | : 海老名市在住の満18歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | : 2,000人 |
| (4) 抽出方法 | : 等間隔単純無作為抽出法（市の電算機より抽出） |
| (5) 母集団 | : 海老名市住民基本台帳 |
| (6) 調査方法 | : 郵送 |
| (7) 調査期間 | : 平成25年5月10日～5月24日 |

4. 地域区分

調査結果の集計にあたっては、下記図及び表1のとおり10地域に区分した。

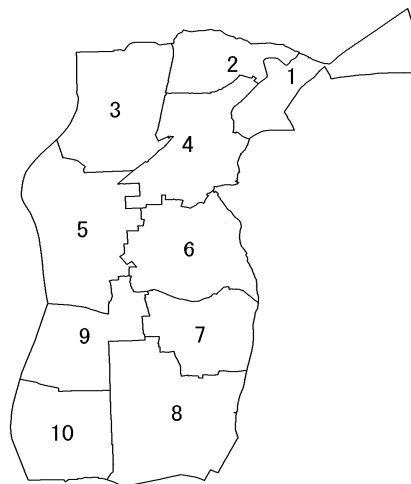


表 1 地域区分一覧表

1	柏ヶ谷地域	柏ヶ谷、東柏ヶ谷 1～6 丁目
2	上今泉地域	上今泉、上今泉 1～6 丁目
3	上郷・下今泉地域	上郷、上郷 1～4 丁目、下今泉、下今泉 1～5 丁目
4	国分地域	中央 1～3 丁目、国分南 1～4 丁目 国分北 1～4 丁目、望地 1～2 丁目、勝瀬
5	海西地域	河原口 1～5 丁目、さつき町、中新田、中新田 1～5 丁目
6	大谷地域	大谷、大谷北 1～4 丁目、大谷南 1～5 丁目、国分寺台 1～5 丁目、浜田町
7	杉久保地域	杉久保北 1～5 丁目、杉久保南 1～5 丁目
8	本郷地域	上河内、中河内、本郷
9	社家地域	社家、今里 1～3 丁目
10	門沢橋地域	中野 1～3 丁目、門沢橋 1～6 丁目

5. 回収結果

地域等	調査対象人口 (構成比)	対象者数	回答数	回収率
総数	106,793 人 (100.0%)	2,000 人	1,013 人	50.7%
柏ヶ谷地域	18,020 人 (16.9%)	338 人	177 人	52.4%
上今泉地域	11,038 人 (10.3%)	205 人	94 人	45.9%
上郷・下今泉地域	5,363 人 (5.0%)	104 人	48 人	46.2%
国分地域	20,667 人 (19.4%)	393 人	207 人	52.7%
海西地域	15,270 人 (14.3%)	277 人	135 人	48.7%
大谷地域	13,847 人 (13.0%)	264 人	141 人	53.4%
杉久保地域	8,003 人 (7.5%)	145 人	76 人	52.4%
本郷地域	2,724 人 (2.6%)	52 人	29 人	55.8%
社家地域	5,188 人 (4.9%)	97 人	50 人	51.5%
門沢橋地域	6,673 人 (6.2%)	125 人	53 人	42.4%

*調査対象人口は平成 25 年 4 月 1 日現在

*居住地域の設問に対して、無回答が 3 票あったため、各地域の回答数の合計は、総数に一致していない。

6. この報告書の見方

- (1) 図表中の N は回答者数です。
- (2) 回答比率 (%) は、すべて N を基数とした百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入しています。このため、回収比率の合計が 100% にならない場合があります。
- (3) 1 つの設問に 2 つ以上選択回答できる「複数回答」の場合には、回答比率の合計が 100% を超えます。
- (4) 調査結果の分析の文章には、図表に掲載されている以外の比率も使用されています。比率の詳細は、巻末集計結果表を参照してください。

II. 調査票・単純集計結果

2. 調査票と単純集計結果

平成25年度 海老名市政アンケート調査



海老名市イメージキャラクター えび～にゃ

日ごろ、市政運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

現在、海老名市では将来都市像「快適に暮らす 魅力あふれるまち 海老名」の実現をめざし、住みよいまちづくりを進めております。

さて、今回お願いいたしますこの調査は、市民のみなさんのご意見を伺い、今後の市政運営に役立てていくことを目的に実施するものです。

調査の実施にあたり、18歳以上の市民の皆様の中から、地区や性別、年齢等のバランスを勘案の上、調査対象者として2,000人を無作為に選んだところ、あなた様にご協力をお願いすることになりました。

この調査は無記名の上、調査の結果は統計的に処理し、具体的な内容を記入いただいた場合も個人が特定できないよう処理しますので、どうぞ率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、ご事情により回答困難な方に届きました場合は、どうぞご容赦いただき、破棄してくださいますようお願い申し上げます。

平成25年 5月

海老名市長

(調査についてのお問い合わせと調査票回収について)

☆この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

海老名市 市民協働部 地域自治推進課 市民相談係

TEL 046-235-4567 (直通)

受付時間 月～金(祝日除く) 8:30から17:15まで

☆ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、**5月24日(金)**までに、ご投函くださいますようお願いいたします。(切手は不要です。)

(ご記入にあたってのお願い)

- * あて名の方ご本人がお答えください。
- * お答えは、あてはまる回答の番号を右の記入欄(口欄)にご記入ください。一つの欄につき一つのお答えをご記入ください。
なお、あてはまる番号に○印をする指示がある場合は、番号に○印をしてください。
- * 一部の方にお答えいただく質問もございますが、その場合は〈・・・と答えた方に、お伺いします。〉といった指示に沿ってお答えください。
- * 「その他」の番号をご記入した場合は()内に内容を具体的にご記入ください。
- * ご記入は、鉛筆か、黒または青のボールペンでお願いします。

※調査票2,000件送付中、1,013件分回収＝回収率50.7%

◎選択肢項目後の数値は回答者数Nに対する選択率%で、()内は回答者数です。回答者数Nは、記載がない限り全体数(1,013)です。

【はじめに】

この調査票に記入された結果は統計的(機械的に)に処理しますので、もしも返信用の封筒に差出人の氏名が書かれたり、調査表の中に具体的な内容が記入されていた場合でも個人が特定されることはありません。

どうぞ率直なご意見をお聞かせください。

【フェイスシート】 <あなた自身のことについて、お伺いします>

【問1】 あなたの性別はどちらですか。該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

1. 男性 49.5 (501) 2. 女性 50.0 (507) * 無回答 0.5 (5)

【問2】 あなたの年齢はおいくつですか。次の中から該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

1. 18～24歳	4.1 (42)	6. 60～64歳	10.9 (110)
2. 25～29歳	4.8 (49)	7. 65～74歳	20.3 (205)
3. 30～39歳	16.2 (164)	8. 75歳以上	10.2 (103)
4. 40～49歳	20.0 (203)	* 無回答	0.4 (4)
5. 50～59歳	13.1 (133)		

【問3】 あなたのお住まいの地域は、どちらですか。次の中から該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

1. 柏ヶ谷地域(東柏ヶ谷、柏ヶ谷)	17.5 (177)
2. 上今泉地域	9.3 (94)
3. 上郷・下今泉地域	4.7 (48)
4. 国分地域(中央、国分南、国分北、望地、勝瀬)	20.5 (207)
5. 海西地域(河原口、さつき町、中新田)	13.3 (135)
6. 大谷地域(大谷、大谷北、大谷南、国分寺台、浜田町)	13.9 (141)
7. 杉久保地域(杉久保北、杉久保南)	7.5 (76)
8. 本郷地域(上河内、中河内、本郷)	2.9 (29)
9. 社家地域(社家、今里)	4.9 (50)
10. 門沢橋地域(中野、門沢橋)	5.2 (53)
* 無回答	0.3 (3)

【問4】あなたの職業は、次のどれですか。次の中から該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

1. 自営業	6.9 (70)
2. 会社員等	43.2 (438)
3. 学生	3.1 (31)
4. 専業主婦・主夫	25.5 (258)
5. 無職	20.7 (210)
* 無回答	0.6 (6)

<問4で1～3と回答した方にお伺いします>

【問4-1】あなたの通勤・通学先はどちらですか。次の中から該当する数字を右側の記入欄に記入してください。(N=539)

1. 海老名市内	24.5 (132)
2. 近隣市町(厚木、大和、座間、綾瀬、藤沢、寒川)	28.8 (155)
3. 横浜市・川崎市	15.8 (85)
4. その他神奈川県内	11.1 (60)
5. 東京23区	13.9 (75)
6. 東京23区以外の都内市町村	4.3 (23)
7. その他()	1.3 (7)
* 無回答	0.3 (2)

【問5】あなたが暮らしている家族構成はどれにあてはまりますか。次の中から該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

1. 単身世帯	9.3 (94)
2. 夫婦のみ	27.0 (274)
3. 二世帯世帯(親と子)	51.4 (520)
4. 三世帯世帯(親と子と孫)	7.4 (75)
5. その他()	4.3 (44)
* 無回答	0.6 (6)

【定住性・生活環境】

【問6】あなたは、海老名市に住んで何年になりますか。次の中から該当する数字を右側の記入欄に記入してください。

1. 1年未満	1.7 (19)
2. 1年以上5年未満	9.9 (100)
3. 5年以上10年未満	8.9 (90)
4. 10年以上20年未満	18.7 (189)
5. 20年以上	41.1 (416)
6. 生まれてからずっと	9.4 (95)
* 無回答	10.3 (104)

【問7】あなたは、これからも海老名市に住みたいと思いますか。次の中からあてはまる番号をひとつ選んで右側の記入欄に記入してください。

1. ずっと住みたい	41.6 (421)
2. できれば住み続けたい	50.1 (508)
3. できれば市外に移りたい	6.9 (70)
4. すぐにでも市外に移りたい	0.7 (7)
* 無回答	0.7 (7)

<問7で「1. ずっと住みたい」「2. できれば住み続けたい」と回答した方にお伺いします >

【問7-1】市内に住みたい理由はなぜですか。次の中から該当するものの番号をすべて右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) (N=929)

1. 自分、または家族の家や土地があるから	74.2 (689)
2. 住み慣れて愛着があるから	71.6 (665)
3. つき合い等の人間関係が良いから	39.3 (365)
4. 仕事や学校のある関係があるから	22.5 (209)
5. 通勤・通学に便利だから	26.8 (249)
6. 買い物等生活に便利だから	51.6 (479)
7. 自然環境が良いから	47.4 (440)
8. 公共施設が整っているから	23.5 (218)
9. 保健福祉等の施策が良いから	16.5 (153)
10. 子育てがしやすいから	11.2 (104)
11. その他 ()	3.4 (32)

<問7で「3. できれば市外に移りたい」「4. すぐにでも市外に移りたい」と回答した方にお伺いします >

【問7-2】市外に移りたい理由はなぜですか。次の中から該当するものの番号をすべて右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) (N=77)

1. 自分、または家族の家や土地がないから	15.6 (12)
2. 周囲の環境が良くないから	27.3 (21)
3. つき合い等の人間関係が良くないから	13.0 (10)
4. 仕事や学校のある関係があるから	13.0 (10)
5. 通勤・通学に不便だから	31.2 (24)
6. 買い物等生活に不便だから	35.1 (27)
7. 自然環境が悪いから	13.0 (10)
8. 公共施設が整っていないから	20.8 (16)
9. 保健福祉等の施策が良くないから	18.2 (14)
10. 子育てがしにくいから	7.8 (6)
11. その他 ()	40.3 (31)

【問8】あなたのお住まいの周囲の生活環境や施策の状況等で、ア～トの各項目について、それぞれ

あてはまると思う番号ひとつに○印をお願いします。

	1 満足	2 やや満足	3 どちらとも 言えない	4 やや不満	5 不満	6 わからない	* 無回答
ア. 病院や診療所等の医療施設	17.0	38.4	20.7	12.1	8.3	2.1	1.4
イ. デイサービス施設等の高齢者 (障がい者)福祉の施設	2.8	9.9	22.3	6.1	4.1	41.3	13.5
ウ. 中学生までの子どもの医療費 全額助成などの子育て支援施策	27.8	17.0	17.3	2.4	2.4	27.6	5.5
エ. 体育館やスポーツ施設の整備	11.2	27.8	22.1	7.8	4.2	13.2	13.7
オ. 文化会館や交流館などの文化施設 の整備	11.4	28.7	30.5	7.8	2.9	16.0	2.7
カ. 講演会、展覧会開催等の生涯学習 施策	3.7	14.9	36.3	6.7	2.8	31.5	4.1
キ. 市役所窓口の対応	19.8	39.3	22.8	5.8	3.4	6.9	2.0
ク. 災害に対する体制・対策の整備	6.0	20.3	34.9	6.9	3.6	25.2	3.1
ケ. 防犯に対する体制・対策	4.9	19.8	34.3	11.1	7.4	19.2	3.3
コ. 歩道・信号の設置等の交通安全対 策	5.9	25.2	25.8	20.7	16.0	3.8	2.6
サ. 海老名駅周辺の自由通路や市街地 整備	12.4	36.9	23.1	12.5	6.9	4.5	3.7
シ. 買い物等の生活の便利さ	23.2	43.5	14.9	8.5	6.6	0.6	2.7
ス. 最寄駅へのアクセス	28.8	35.0	15.3	11.9	6.0	0.7	2.2
セ. 幹線道路の整備 (南伸道路など市内の主要な道路)	9.7	26.4	26.6	8.3	6.8	9.6	12.6
ソ. 生活道路の整備 (自宅周辺の幹線道路へ続く道路)	9.8	29.3	25.1	18.0	11.0	3.2	3.6
タ. 下水道・排水処理施設の整備	17.6	34.2	25.0	5.6	3.4	11.5	2.4
チ. ごみ処理と資源回収	24.1	42.5	20.9	6.7	2.0	1.8	2.0
ツ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策	7.9	20.8	31.8	16.0	14.0	7.3	2.2
テ. 公園・遊び場の整備	10.0	29.1	28.7	13.3	6.6	9.6	2.7
ト. 樹林地や田園等の緑と自然環境	15.5	35.5	28.2	8.9	3.4	6.2	2.3

[総合計画]

【問9】 市では、様々な施策を行っていますが、次のア～サの各項目について、今後さらに充実すべき施策と思いますか。それぞれあてはまると思う番号ひとつに○印をお願いします。

	1 重要	2 やや重要	3 どちらとも 言えない	4 あまり重要 ではない	5 重要ではな い	6 わからない	* 無回答
ア. 中学生までの子どもの医療費全額助成などの子育て支援施策	47.0	17.6	13.4	3.0	3.3	12.4	3.3
イ. 体育館やスポーツ施設の整備	17.0	31.5	28.7	9.2	3.8	6.4	3.4
ウ. 文化会館や交流館などの文化施設の整備	13.3	31.2	32.1	9.8	4.3	6.4	2.9
エ. 講演会、展覧会開催等の生涯学習施策	9.3	26.1	36.5	11.0	4.3	9.0	3.8
オ. 市役所窓口の対応	37.1	32.3	21.1	2.8	1.4	3.1	2.2
カ. 災害に対する体制・対策の整備	61.8	23.0	8.8	0.6	0.1	3.6	2.1
キ. 海老名駅周辺の自由通路や市街地整備	32.9	34.7	18.9	6.0	2.6	2.3	2.6
ク. 幹線道路の整備 (南伸道路など市内の主要な道路)	30.4	32.8	22.1	4.6	1.7	5.1	3.3
ケ. 生活道路の整備 (自宅周辺の幹線道路へ続く道路)	39.1	32.0	19.2	3.8	1.1	2.1	2.7
コ. ごみ処理と資源回収	41.4	36.5	16.2	1.3	0.7	1.7	2.2
サ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策	44.4	32.9	15.5	2.0	0.6	2.5	2.1

[海老名の魅力]

【問10】 あなたは、海老名市のどのようなところに強い魅力を感じますか。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

1. 交通・生活の利便性	70.6 (715)
2. ビナウォークをはじめとした商業施設	61.9 (627)
3. いちご・いちごワイン	8.4 (85)
4. 東名高速道路『EXPASA (イクパ-サ)海老名』	37.8 (383)
5. 相模川や田んぼなどの自然	55.4 (561)
6. シネマコンプレックス (映画館)	33.2 (336)
7. 田舎と都会がほどよくバランスとれた街	59.6 (604)
8. 歴史・相模国分寺史跡	23.7 (240)
9. イメージキャラクター「えび～にゃ」	19.2 (194)
10. その他 ()	4.9 (50)
* 無回答	1.8 (18)

[広報・情報化]

【問 11】 あなたは、海老名の行事や出来事などについて、どのように知りますか。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

1. 広報えびな	92.1 (933)
2. 市のホームページ	18.9 (191)
3. 自治会回覧	57.0 (577)
4. 自治会掲示板	12.8 (130)
5. 新聞やテレビ	18.2 (184)
6. タウン情報誌	34.4 (348)
7. フェイスブック	2.6 (26)
8. その他 ()	3.5 (35)
* 無回答	2.1 (21)

【問 11-1】 現在の「広報えびな」「市のホームページ」の内容について、どう思われますか。あて

てはまると思う番号**ひとつに○印**をお願いします。

	1 わかりやすい	2 ふつう	3 わかりにくい	4 見ていない	* 無回答
ア 広報えびな	30.5	50.4	3.2	4.9	11.0
イ 市ホームページ	5.0	32.3	7.2	43.2	12.3

【問 11-2】 「広報えびな」「市のホームページ」にどのような記事(内容)を掲載してほしいと思いますか。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

1. 市長の市政運営における考え方	43.1 (437)
2. 制度の変更や手続きの案内	69.6 (705)
3. 市の予算やその使われ方	49.9 (505)
4. 市の政策や計画	59.9 (607)
5. 市主催の講座・イベント	60.4 (612)
6. 地域の話題	50.3 (510)
7. 各種申請方法等	53.2 (539)
8. その他 ()	2.6 (26)
* 無回答	6.6 (67)

【問 12】 あなたは、インターネットを利用していますか。次の中からあてはまる番号を**ひとつ**選んで右側の記入欄に記入してください。

1. はい	65.1 (659)
2. 今後利用したい	4.7 (48)
3. いいえ	26.5 (268)
* 無回答	3.7 (38)

<問 12 で「1. はい」と答えた方にお伺いします>

【問 12-1】 インターネットを利用するときは、どのような機器を利用していますか。主に利用するものの番号を次の中から**ひとつ**選んで右側の記入欄に記入してください。(N=659)

1. 自宅のパソコン	63.4 (418)
2. 勤め先のパソコン	6.4 (42)
3. 携帯電話	4.1 (27)
4. スマートフォン・タブレット端末	25.8 (170)
5. コミュニティセンター等に設置している公共情報端末	0.0 (0)
6. その他 ()	0.3 (2)
* 無回答	0.0 (0)

【問 13】 携帯電話やスマートフォンで、市による講座・イベント等の参加申込みや、市からの安全安心メールの受信が出来ることを知っていますか。次の中から**ひとつ**選んで右側の記入欄に記入してください。

1. 知っている	42.8 (434)
2. 知らない	48.3 (489)
* 無回答	8.9 (90)

<問 13 で「1. 知っている」と答えた方にお伺いします>

【問 13-1】 市で提供している、携帯電話サービスを利用したことがありますか。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可) (N=434)

1. 講座・イベント等の参加申し込み	5.8 (25)
2. 安全安心メール	59.9 (260)
3. 利用したことがない	38.2 (166)
* 無回答	20.7 (90)

【防火・防災】

【問 14】 あなたは大規模災害が発生した場合、どのようなことに不安を感じますか。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

1. 自宅の耐震について	66.4 (673)
2. 家族の安全・連絡	85.4 (865)
3. 避難所が不足する	52.9 (536)
4. 飲料水・食料が不足する	80.9 (820)
5. 津波におそわれる	8.7 (88)
6. 停電	74.5 (755)
7. 公共交通機関の不通	62.3 (631)
8. その他 ()	6.3 (64)
* 無回答	3.0 (30)

【問 15】 あなたの家庭では、災害への備えとして、どのようなことをしていますか。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| 1. 非常用持ち出し品を準備している | 51.2 (519) |
| 2. 災害時の飲料水や食料の準備をしている | 60.6 (614) |
| 3. 家具の転倒防止をしている | 40.6 (411) |
| 4. 近隣の広域避難場所等について確認している | 54.8 (555) |
| 5. 近隣の避難所予定施設について確認している | 25.0 (253) |
| 6. 家族間等で災害時の連絡方法について確認している(災害用伝言版等) | 26.3 (266) |
| 7. 帰宅困難者になった場合の対応を決めている | 12.6 (128) |
| 8. 特に何もしていない | 12.6 (128) |
| * 無回答 | 1.3 (13) |

【問 16】 あなたは、お住まいの地域の防災訓練に参加したことがありますか。次の中から**ひとつ**選んで右側の記入欄に記入してください。

- | | |
|-----------------------------------|------------|
| 1. 機会あるたびにいつも参加している | 13.3 (135) |
| 2. 参加する意思はあるが、忙しくてなかなか参加できない | 19.4 (197) |
| 3. 防災訓練が行われていることは知っているが、参加したことがない | 30.0 (304) |
| 4. 防災訓練がいつ行われているか知らないので参加したことがない | 32.2 (326) |
| 5. 興味もなく必要性を感じない | 2.1 (21) |
| * 無回答 | 3.0 (30) |

【問 17】 市では、災害に備え「海老名市防災マップ」を配布するなどしておりますが、あなたが知りたい情報は何か。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 日頃の備えについて | 45.6 (462) |
| 2. 避難時の対応について | 78.3 (793) |
| 3. 災害時の情報収集について | 71.6 (725) |
| 4. 東海地震に関する情報 | 40.9 (414) |
| 5. 市内の揺れやすさマップ | 50.7 (514) |
| 6. 地震への備えについて | 47.2 (478) |
| 7. 風水害に対する備えについて | 30.9 (313) |
| 8. その他 () | 2.7 (27) |
| * 無回答 | 2.5 (25) |

【問 18】 市内には、行政が設置している消防署のほかに、地域住民で組織された「消防団」がありますが、次のア～ウの各項目について、あてはまる番号**いずれかひとつに○印**をお願いします。

	1 知っている	2 知らない	* 無回答
ア. 自分の地域に消防団があることを知っている	82.4	16.4	1.2
イ. 消防団員は、普段、自分の職業に就いていることを知っている	82.5	14.0	3.5
ウ. 消防団への入団方法を知っている	23.5	72.0	4.5

【問 19】 もし、あなたが消防団に誘われた場合、協力（入団）できますか。次の中から**ひとつ**選んで右側の記入欄に記入してください。

1. 協力（入団）できる	7.4 (75)
2. 協力（入団）できない	90.2 (914)
* 無回答	2.4 (24)

<問 19で「2.（協力）できない」と答えた方にお伺いします>

【問 19-1】 現在、各地域の消防団員は減少傾向にありますが、その原因は何だと思いませんか。最もあてはまると思うもの**ひとつ**を選んで右の記入欄に記入してください。(N=914)

1. 危険な任務だから	2.6 (24)
2. 本業（自分の仕事）が忙しいから	33.6 (307)
3. 消防団の存在や活動内容が知られてないから（PR不足）	6.0 (55)
4. 年齢や体力面で自信がないから	41.5 (379)
5. 自治会等、地域の関わりが薄れているから	10.0 (91)
6. その他 ()	5.0 (46)
* 無回答	1.3 (12)

【空き家問題について】

【問 20】 現在、人が住まなくなり、空き家状態になっている住宅が増え、全国的に問題となっていますが、あなたが感じることは何ですか。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

- | | |
|----------------------------------|------------|
| 1. 侵入者が入りやすく、防犯上不安である | 75.7 (767) |
| 2. 漏電による火災や放火などが不安である | 63.7 (645) |
| 3. 建物自体の老朽化が進み、災害時の倒壊などが心配である | 58.3 (591) |
| 4. 庭木などの手入れがされず、景観が悪く、街のイメージを損なう | 55.7 (564) |
| 5. その他 () | 3.4 (34) |
| 6. 特に何も感じない | 4.4 (45) |
| * 無回答 | 3.5 (35) |

【健康・スポーツ】

【問 21】 あなたは、自分の健康を維持するために行っていることがありますか。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| 1. 市の検(健)診(がん検診・健康診査)を受診している | 31.4 (318) |
| 2. 会社などの検診を受診している | 43.5 (441) |
| 3. 運動(スポーツ)を行っている
運動(スポーツ)の種類 () | 35.1 (356) |
| 4. 規則正しい生活を心がけている | 49.1 (497) |
| 5. 食生活に注意している | 57.3 (580) |
| 6. ストレス解消に努めている | 31.9 (323) |
| 7. その他 () | 3.7 (37) |
| 8. 特に何もしていない | 6.4 (65) |
| * 無回答 | 1.5 (15) |

【問 22】 あなたが1年のうち、1回当たり30分以上運動した日数は何日になりますか。最もあてはまると思うもの**ひとつ**を選んで右の記入欄に記入してください。

(※運動とは、競技スポーツだけではなく、ウォーキングや体操等の軽い運動も含みます)

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 週3日以上(年151日以上) | 30.2 (306) |
| 2. 週1日程度(年50日以上) | 23.8 (241) |
| 3. 月に1~3日程度(年12~50日以上) | 19.5 (198) |
| 4. 年に1~3日程度 | 10.4 (105) |
| 5. 全く行わない | 12.8 (130) |
| 6. その他 () | 1.9 (19) |
| * 無回答 | 1.4 (14) |

【イベント】

【問 23】海老名市では、市民まつりや講演会など様々なイベントを開催していますが、あなたが参加したいと思うイベントは何ですか。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 市民まつりや花火大会等のお祭りイベント | 58.0 (588) |
| 2. マラソン大会等のスポーツイベント | 12.2 (124) |
| 3. 生涯学習等の各種講座・講演会 | 29.0 (294) |
| 4. コンサート等の音楽イベント | 36.3 (368) |
| 5. 親子で楽しめる参加型イベント | 16.0 (162) |
| 6. その他 () | 1.5 (15) |
| 7. 興味のあるイベントはない | 10.0 (101) |
| * 無回答 | 3.3 (33) |

【まちづくり】

【問 24】現在、海老名駅西口地区（JR海老名駅北側）で土地区画整理事業によるまちづくりが進められていますが、あなたが期待することは何ですか。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------------------|------------|
| 1. 大型商業施設ができることで、買い物が便利になる | 66.8 (677) |
| 2. 買い物客など海老名を訪れる人が増え、街が活気づく | 45.8 (464) |
| 3. 海老名に移り住む人が増え、にぎわいのある街になる | 32.2 (326) |
| 4. 商業施設が増えることで、雇用が拡大する | 48.4 (490) |
| 5. まちづくりが進むことで市の税収が増え、市の財政が潤う | 52.4 (531) |
| 6. 特に期待することはない | 11.6 (118) |
| * 無回答 | 2.6 (26) |

[環境・資源対策]

【問 25】 日常生活の中でできる環境にやさしい生活（エコライフ）の取り組みの主なものですが、あなたが取り組んでいることは何ですか。あてはまると思う番号**ひとつに○印**をお願いします。

	1 常に実施	2 ときどき 実施	3 今後実施 したい	4 実施する つもりはない	5 わからない	* 無回答
ア. 冷暖房機器の設定温度を高め、低めにしている（推奨温度は夏 28 度、冬 20 度）	51.9	34.7	5.6	2.9	1.5	3.4
イ. 照明やテレビなど、こまめにスイッチを消している。	62.4	29.3	4.5	1.2	0.2	2.4
ウ. 使っていない電化製品のコンセントをこまめに抜いている（待機電力の節電対策として、使わないときは主電源をオフにすることも含みます）	37.7	35.1	16.1	6.7	1.6	2.8

【問 26】 市では、電気自動車の購入について補助制度を行っていますが、もし、あなたが自動車を新規に購入または買い替えることになった場合、電気自動車を購入したいと思いますか。次の中から**ひとつ**選んで右側の記入欄に記入してください。

1. 電気自動車を購入したい	18.5 (187)
2. 電気自動車は購入したくない	27.6 (280)
3. まだわからない	49.0 (496)
* 無回答	4.9 (50)

<問 26「2. 電気自動車は購入したくない」、「3. まだわからない」と答えた方にお伺いします>

【問 26-1】 「電気自動車は購入したくない」、「まだわからない」と答えた理由は何ですか。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。（複数回答可）（N=776）

1. 充電設備がないから	61.3 (476)
2. 価格が高いから	59.7 (463)
3. 技術的に不安があるから	21.0 (163)
4. 車種が少ないから	36.1 (280)
5. その他（)	19.8 (154)
* 無回答	8.8 (68)

【問 27】 ごみの減量やリサイクルを進めて行くためにあなたが実践していることは何ですか。

次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。(複数回答可)

- | | |
|---|------------|
| 1. ごみの分別を徹底している | 88.5 (897) |
| 2. 生ごみの水切りを徹底している | 53.5 (542) |
| 3. 生ごみ処理機やコンポスト等を使用し、生ごみの減量化・堆肥化を行っている。 | 11.3 (114) |
| 4. 食べ残しが出ないよう食事を作る | 44.3 (449) |
| 5. 商品を買う際には、詰め替え製品や再生資源を利用した商品(エコマーク・グリーンマーク商品等)を購入する | 33.6 (340) |
| 6. リサイクルショップ等で、中古品や再生品を購入する | 13.4 (136) |
| 7. 購入した製品は、長期使用に努めている | 56.9 (576) |
| 8. 買い物の際、過剰包装やレジ袋・割り箸・スプーンなどは断る | 49.1 (497) |
| 9. マイボトル・マイカップ・水筒等を使用し、ペットボトル等の飲み物を買わない | 27.6 (280) |

【問 28】 今後、ごみ減量化・資源化を進めるにあたり、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から該当するものの番号を**すべて**右側の記入欄に記入してください。

(複数回答可)

- | | |
|---|------------|
| 1. ごみ収集の有料化 | 13.2 (134) |
| 2. ごみの戸別収集 | 18.4 (186) |
| 3. ごみの指定袋の導入 | 22.0 (223) |
| 4. ごみの分別ルール・マナーの呼びかけ・イベント・出前講座等の啓発活動 | 52.4 (531) |
| 5. 国や県への働きかけ(生産・販売事業者へのごみの減量化・資源化の義務付け)や不用品の再利用PR、「リサイクルプラザ」の再利用事業の拡大 | 39.0 (395) |
| 6. 生ごみ処理機やコンポスト等の普及促進 | 30.9 (313) |
| 7. 集合住宅や事業所における大型生ごみ処理機の設置促進 | 33.1 (335) |
| 8. 剪定枝の資源化 | 23.1 (234) |
| 9. その他 () | 3.7 (37) |
| * 無回答 | 4.4 (45) |

Ⅲ. 調査結果の分析

1. 調査回答者の特性（地域別）

調査回答者の特性を地域毎に分析し、その結果を地域間で比較した。表中の「市全体の回答数」の列と「全体」の行で「市全体の回答率」以外の単位は人数表示、その他は％表示となっている。

◎ 性別での割合は、全体で男性45.8％、女性53.3％

◎ 年代別では、65～74歳20.2％で最も高く、次に40歳代20.0％、30歳代16.2％となっている。

地域別では、18～24歳は門沢橋地域、25～29歳は国分地域、30歳代は社家地域、40歳代は上郷・下今泉地域、50歳代、60～64歳は杉久保地域、65～74歳は本郷地域、75歳以上は大谷地域がそれぞれ最も高い。

◎ 居住年数別では、20年以上41.1％が最も高く、10年以上20年未満18.7％、1年以上5年未満9.9％と続いている。

地域別では、1年未満が海西地域、1年以上5年未満が門沢橋地域、5年以上10年未満では柏ヶ谷地域、10年以上20年未満では本郷地域、20年以上では杉久保地域、生まれてからずっとでは本郷地域が最も高くなっている。

◎ 職業別では、回答者全体の割合で見ると、会社員等43.2％が最も高く、専業主婦・主夫25.5％、無職20.7％、自営業6.9％と続く。

会社員等は、社家地域50.5％、専業主婦・主夫は海西地域35.5％、無職は上郷・下今泉地域27.1％、自営業は本郷地域10.3％がそれぞれ最も高くなっている。

◎ 通勤・通学場所では、回答者全体の割合では海老名市内と近隣市町を合わせると53.3％を占める。また、神奈川県内は80.2％、東京都内は18.2％で、8割が神奈川県内に通勤・通学している。

海老名市内と近隣市町への通勤・通学率は、本郷地域85.7％が最も高く、杉久保地域74.4％、社家地域62.9％と続いている。

◎ 家族の形態別では、回答者全体の割合で見ると、単身9.3％、夫婦のみ27.0％、二世帯51.3％、三世帯7.4％、その他4.3％となっている。

単身は海西地域14.1％、夫婦のみは上今泉地域35.1％、二世帯は本郷地域69.0％、三世帯は門沢橋地域15.1％が、それぞれ最も高い。

調査回答者の特性（地域別）－性別、年代、性別・年代別

		市全体の回答数	市全体の回答率	柏ヶ谷地域	上今泉地域	上郷・下今泉地域	国分地域	海西地域	大谷地域	杉久保地域	本郷地域	社家地域	門沢橋地域	無回答
全体		1013	100.0	177	94	48	207	135	141	76	29	50	53	3
性別	男性	501	49.5	50.8	51.1	52.1	46.4	51.9	53.9	44.7	41.4	38.0	58.5	0.0
	女性	507	50.0	49.2	48.9	47.9	53.6	48.1	45.4	55.3	55.2	62.0	41.5	0.0
	無回答	5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	3.4	0.0	0.0	100.0
年代	18～24歳	42	4.1	4.5	3.2	4.2	4.3	4.4	2.8	2.6	3.4	6.0	7.5	0.0
	25～29歳	49	4.8	5.6	3.2	2.1	8.2	4.4	2.8	3.9	0.0	4.0	5.7	0.0
	30～39歳	164	16.2	17.5	13.8	16.7	14.0	17.0	12.1	14.5	17.2	36.0	17.0	0.0
	40～49歳	203	20.0	20.3	21.3	25.0	21.3	17.0	20.6	17.1	17.2	18.0	22.6	0.0
	50～59歳	133	13.1	13.6	9.6	4.2	13.5	14.8	12.1	19.7	17.2	18.0	7.5	0.0
	60～64歳	110	10.9	10.7	12.8	8.3	9.7	7.4	12.1	19.7	10.3	6.0	13.2	0.0
	65～74歳	205	20.2	16.9	24.5	20.8	17.9	26.7	23.4	19.7	27.6	6.0	18.9	0.0
	75歳以上	103	10.2	10.2	11.7	18.8	11.1	8.1	14.2	2.6	6.9	6.0	7.5	0.0
	無回答	4	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男性	18～24歳	15	1.5	2.8	1.1	2.1	1.0	0.0	1.4	1.3	0.0	0.0	5.7	0.0
	25～29歳	22	2.2	2.3	2.1	0.0	3.9	2.2	0.0	3.9	0.0	0.0	3.8	0.0
	30～39歳	68	6.7	5.6	5.3	8.3	6.3	8.1	6.4	3.9	10.3	16.0	3.8	0.0
	40～49歳	102	10.1	11.9	10.6	12.5	11.6	8.1	8.5	7.9	0.0	8.0	15.1	0.0
	50～59歳	69	6.8	7.9	4.3	2.1	4.3	10.4	6.4	9.2	13.8	8.0	5.7	0.0
	60～64歳	52	5.1	5.1	6.4	2.1	4.3	5.9	6.4	9.2	0.0	0.0	5.7	0.0
	65～74歳	112	11.1	10.7	12.8	12.5	8.7	12.6	15.6	7.9	13.8	2.0	13.2	0.0
	75歳以上	61	6.0	4.5	8.5	12.5	6.3	4.4	9.2	1.3	3.4	4.0	5.7	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	18～24歳	27	2.7	1.7	2.1	2.1	3.4	4.4	1.4	1.3	3.4	6.0	1.9	0.0
	25～29歳	27	2.7	3.4	1.1	2.1	4.3	2.2	2.8	0.0	0.0	4.0	1.9	0.0
	30～39歳	96	9.5	11.9	8.5	8.3	7.7	8.9	5.7	10.5	6.9	20.0	13.2	0.0
	40～49歳	101	10.0	8.5	10.6	12.5	9.7	8.9	12.1	9.2	17.2	10.0	7.5	0.0
	50～59歳	64	6.3	5.6	5.3	2.1	9.2	4.4	5.7	10.5	3.4	10.0	1.9	0.0
	60～64歳	58	5.7	5.6	6.4	6.3	5.3	1.5	5.7	10.5	10.3	6.0	7.5	0.0
	65～74歳	92	9.1	6.2	11.7	8.3	9.2	14.1	7.8	11.8	10.3	4.0	5.7	0.0
	75歳以上	41	4.0	5.6	3.2	6.3	4.8	3.7	4.3	1.3	3.4	2.0	1.9	0.0
	無回答	1	0.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

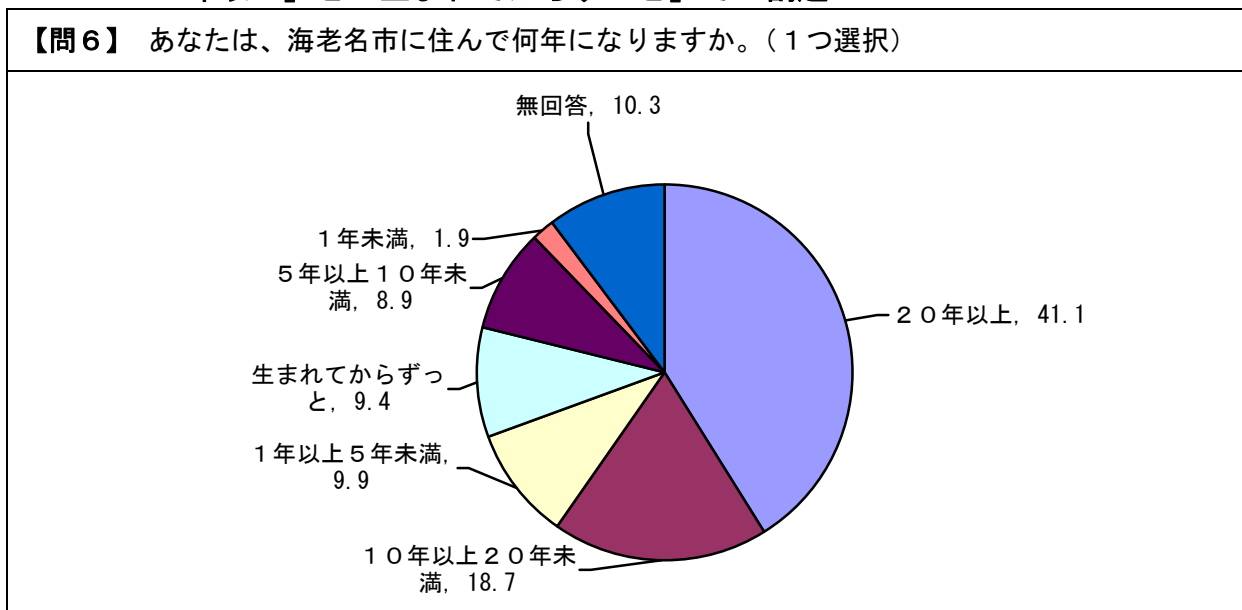
調査回答者の特性（地域別）－居住年数、職業、通勤・通学場所、家族構成

		市全体の回答数	市全体の回答率	柏ヶ谷地域	上今泉地域	上郷・下今泉地域	国分地域	海西地域	大谷地域	杉久保地域	本郷地域	社家地域	門沢橋地域	無回答
合計		1013	100.0	177	94	48	207	135	141	76	29	50	53	3
居住年数	1年未満	19	1.9	1.1	2.1	0.0	2.9	3.7	2.1	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上5年未満	100	9.9	11.3	8.5	6.3	8.7	11.1	6.4	6.6	6.9	18.0	20.8	0.0
	5年以上10年未満	90	8.9	12.4	9.6	12.5	10.1	8.1	6.4	5.3	3.4	4.0	9.4	0.0
	10年以上20年未満	189	18.7	25.4	18.1	25.0	18.8	18.5	15.6	10.5	27.6	18.0	7.5	0.0
	20年以上	416	41.1	32.2	44.7	39.6	38.6	39.3	48.2	64.5	24.1	34.0	39.6	100.0
	生まれてからずっと	95	9.4	5.1	4.3	6.3	8.2	10.4	12.1	5.3	27.6	22.0	15.1	0.0
	無回答	104	10.3	12.4	12.8	10.4	12.6	8.9	9.2	6.6	10.3	4.0	7.5	0.0
職業	自営業	70	6.9	6.2	6.4	4.2	7.2	8.1	7.8	7.9	10.3	4.0	5.7	0.0
	会社員等	438	43.2	48.0	41.5	41.7	43.0	40.7	41.1	40.8	34.5	50.0	47.2	33.3
	学生	31	3.1	4.0	2.1	2.1	4.3	4.4	1.4	2.6	3.4	0.0	1.9	0.0
	専業主婦・主夫	258	25.5	20.9	23.4	22.9	26.1	23.7	26.2	35.5	27.6	34.0	24.5	0.0
	無職	210	20.7	20.3	26.6	27.1	18.8	22.2	22.7	13.2	24.1	10.0	20.8	66.7
	無回答	6	0.6	0.6	0.0	2.1	0.5	0.7	0.7	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0
通勤・通学場所	海老名市内	132	24.5	17.5	29.8	13.0	16.8	31.9	31.0	35.9	50.0	18.5	24.1	0.0
	近隣市町	155	28.8	27.2	23.4	17.4	31.0	29.2	19.7	38.5	35.7	44.4	31.0	100.0
	横浜市・川崎市	85	15.8	31.1	12.8	34.8	11.5	8.3	14.1	12.8	0.0	3.7	13.8	0.0
	その他神奈川県内	60	11.1	7.8	19.1	8.7	10.6	16.7	7.0	5.1	14.3	14.8	13.8	0.0
	東京23区	75	13.9	13.6	6.4	21.7	16.8	11.1	22.5	7.7	0.0	11.1	13.8	0.0
	都内市町村	23	4.3	1.9	6.4	4.3	8.8	2.8	2.8	0.0	0.0	7.4	3.4	0.0
	その他	7	1.3	0.0	2.1	0.0	3.5	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.4	1.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家族構成	単身世帯	94	9.3	11.9	10.6	6.3	11.1	14.1	3.5	6.6	6.9	10.0	1.9	0.0
	夫婦のみ	274	27.0	23.2	35.1	27.1	28.5	25.9	34.0	30.3	13.8	8.0	24.5	33.3
	二世帯世帯	520	51.3	52.5	38.3	54.2	51.7	46.7	48.9	55.3	69.0	62.0	58.5	66.7
	三世帯世帯	75	7.4	6.2	6.4	8.3	5.8	6.7	9.2	5.3	6.9	12.0	15.1	0.0
	その他	44	4.3	6.2	9.6	4.2	1.9	5.9	2.8	2.6	3.4	6.0	0.0	0.0
	無回答	6	0.6	0.0	0.0	0.0	1.0	0.7	1.4	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0

2「定住性・生活環境」

(1) 居住年数

「20年以上」と「生まれてからずっと」で5割超



海老名市での居住年数は、「20年以上」41.1%が最も高く、続いて「10年以上20年未満」18.7%、「1年以上5年未満」9.9%、「生まれてからずっと」9.4%、「5年以上10年未満」8.9%、「1年未満」1.9%となっている。

また、「20年以上」、「生まれてからずっと」を合わせると50.5%となり、前回の52.8%からやや減少している。平成19、21、23、25年度の調査結果の推移は、52.2%→52.8%→52.8%→50.5%となっている。

「10年未満の居住者」は30歳代で5割超

「20年以上、生まれてからずっと」は60歳以上で7割超

年代別では、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「5年以上10年未満」と回答したのは、18～24歳7.2%、25～29歳42.8%、30歳代55.6%、40歳代29.6%、50歳代9.8%であり、60歳代以上では全て10%以下となっている。前回の調査と比較すると、75歳以上は今回8.8%であり、前回の4.0%から増加となった。

また、「20年以上」、「生まれてからずっと」の回答したのは、18歳～24歳38.1%、25～29歳36.7%、30歳代20.8%、40歳代28.1%、50歳代60.9%であり、60歳以上では60歳～64歳70.9%、65歳～74歳72.7%、75歳以上71.9%で、前回の調査と比較すると75歳以上の「20年以上」「生まれてからずっと」の居住者の減少が目立つ結果となった。

「10年未満の居住者」は門沢橋地域、柏ヶ谷地区、海西地区が多い

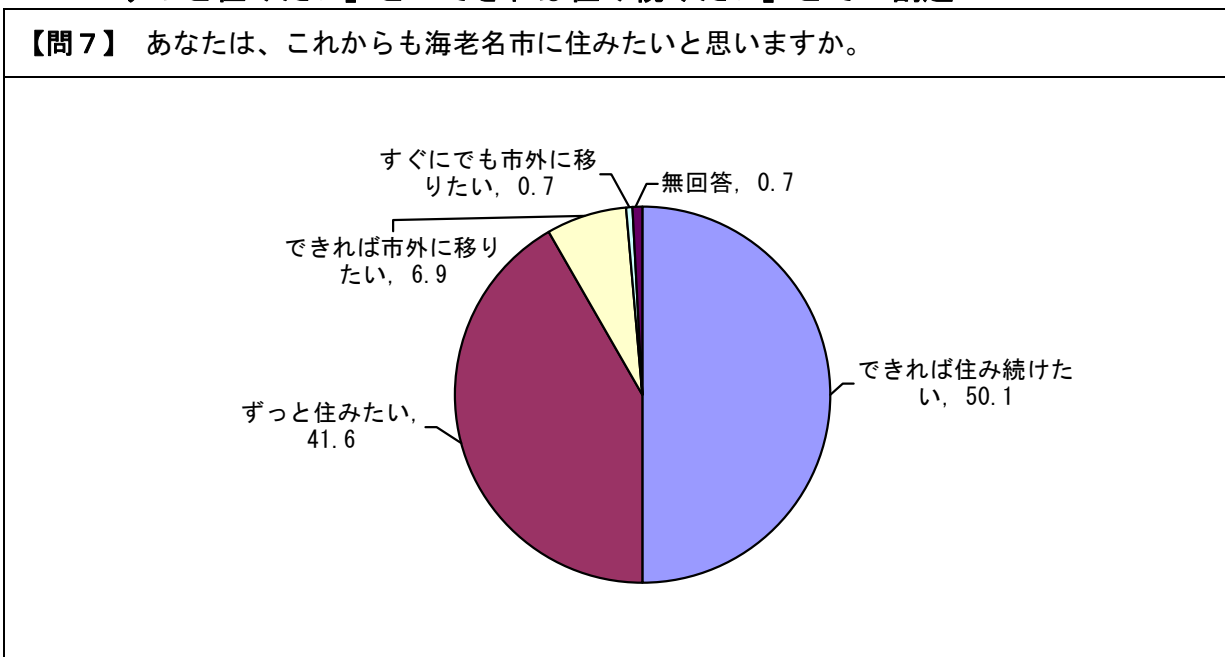
「20年以上、生まれてからずっと」は杉久保地域、大谷地域、社家地域が多い

地域別で見ると、10年未満の居住者は門沢橋地域30.2%が最も高く、次に柏ヶ谷地域24.8%、海西地域22.9%、と続く。前回の調査と比較すると、門沢橋地域は今回30.2%であり、前々回の19.0%、前回の27.4%から引き続き増加となった。

20年以上、「生まれてからずっと」の居住者は杉久保地域69.8%が最も高く、大谷地域60.3%、社家地域66.1%と続く。

(2) 定住意向・転出意向

「ずっと住みたい」と「できれば住み続けたい」とで9割超



海老名市への定住意向は、「ずっと住みたい」、「できれば住み続けたい」を合わせると91.7%となり、9割以上の方がこれからも海老名市に住みたい意向を持っている一方、市外に移りたいという意向を持っているのは7.6%となっている。

平成19、21、23、25年度の調査結果の推移は、定住意向の割合は83.9%→87.1%→87.5%→91.7%と高い水準を維持している。逆に転出意向の割合は14.5%→11.6%→11.1%→7.6%となっており、減少傾向にあるといえる。

20歳代後半からすでに高い定住意向

定住意向について年代別では、どの年代でも高い数値を示しており、25歳以降からすでに80%を超えた高い数値となっている。この中で「ずっと住みたい」は年齢が高くなるに従い比率が高まっていく。逆に「できれば住み続けたい」は、年齢が低くなるに従い割合が高くなる傾向にある。

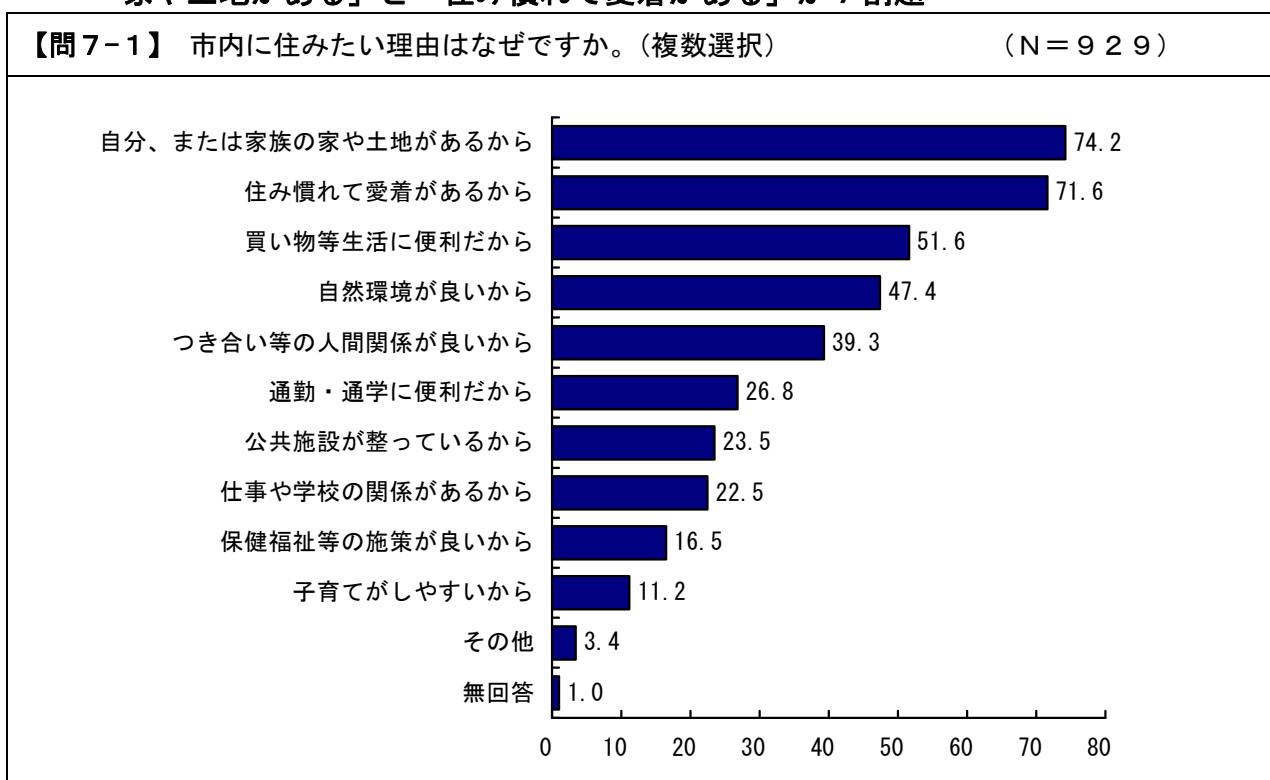
他方、転出意向について見ると、年齢が低くなるほど数値が高くなっており、18歳～24歳では20%を超えている。「できれば市外に移りたい」は18～24歳で28.5%、25～29歳で12.2%、30歳代で9.1%、40歳代で8.4%、50歳代で7.6%、60～64歳で6.4%、65歳以上は6%未満となっている。「すぐにでも市外に移りたい」は18歳～24歳7.1%を除いてはどの年齢層とも1%未満である。

地域別で見ると、定住意向で最も高い地域は本郷地域の96.6%で、大谷地域95.8%と続き、他の地域も高い割合となっている。また、転出意向は柏ヶ谷地域10.2%が最も高くなっている。

居住年数別で見ると、定住意向では20年以上94.8%が最も高く、生まれてからずっとが94.7%が続いている。また、転出意向については1年以上5年未満が17.0%で最も高く、1年未満が10.5%と続く。

(3) 市内に住みたい理由

「家や土地がある」と「住み慣れて愛着がある」が7割超



市内に住みたい理由は、「自分、または家族の家や土地があるから」74.2%と最も高く、続いて「住み慣れて愛着があるから」71.6%、「買い物等生活に便利だから」51.6%となっており、上位2つは19、21、23年度の調査でも同一で、この2つはそれぞれ7割超となっている。

性別では、男女とも1位から6位までが調査全体の結果と同じであるが、女性は同率6位に「公共施設が整っているから」が入っている。

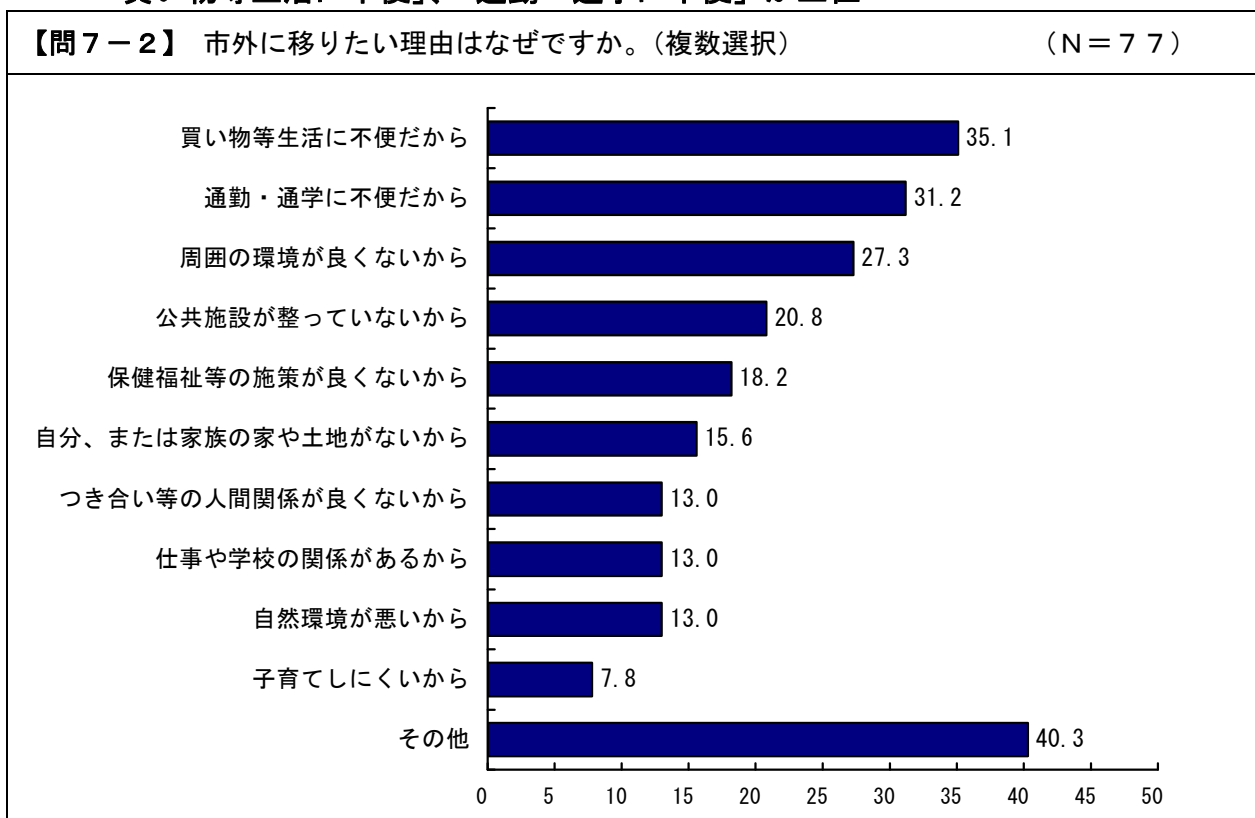
年代別では、「自分、または家族の家や土地があるから」、「住み慣れて愛着があるから」が各年代とも上位1・2位を概ね占めているが、25～29歳のみ2位に「通勤・通学に便利だから」となっている。また、18～24歳では「住み慣れて愛着があるから」の選択率は100%となっている。

地域別では、上位2項目の選択率の高さは共通しているが、特徴的なものとしては柏ヶ谷地区の「買い物等生活に便利だから」が63.5%と地区内では同率2位と高い一方、本郷地区では17.2%と低いこと、また、「つき合い等の人間関係が良いから」の選択率は本郷地区が55.2%と高いことが挙げられる。

居住年数別では、「自分、または家族の家や土地があるから」は居住年数が長くなるに従い割合が高くなっている。

(4) 市外に移りたい理由

「買い物等生活に不便」、「通勤・通学に不便」が上位



市外へ移りたい理由としては、「買い物等生活に不便だから」35.1%が最も高く、「通勤・通学に不便だから」31.2%、「周囲の環境が良くないから」27.3%と続いている。

前回の調査(択一方式)では、「通勤・通学に不便だから」、「仕事や学校の関係があるから」、「買い物等生活に不便だから」の順であったが、今回調査(複数選択方式)では、「買い物に不便だから」、「周囲の環境が良くないから」の選択率が高くなっている。

性別で見ると、男性は「通勤・通学に不便だから」31.7%と選択率が高く、女性は「買い物等生活に不便だから」40.4%が最も高い。2位は男女とも「周囲の環境が良くないから」となっており、男性の22.0%、女性の25.5%が選択している。

年代別で見ると、「買い物等生活に不便だから」の選択率が高いのは25~29歳、65~74歳、75歳以上となっており、特に75歳以上では66.7%の選択率となっている。また、「通勤・通学に不便だから」の選択率が高いのは18~24歳・40歳代がともに50%を超えており、50歳代も28.6%ではあるが年代別では同率1位となっている。

地域別では、「買い物等生活に不便だから」の選択率が最も高い地区は、上今泉地区、海西地区、杉久保地区、社家地区、門沢橋地区となっており、中でも、杉久保・社家・門沢橋の3地区については、いずれも50%を超える高い選択率となっている。

居住年数別では、調査全体で1位の「買い物等生活に不便だから」は、全ての区分で3位以内となっている。また、特徴的なものとしては、5年以上10年未満、10年以上20年未満で「通勤・通学に不便だから」の選択率がともに40%を超える高さで1位となっていることが挙げられる。

(5) 生活環境と施策の満足度

【問8】 あなたのお住まいの周囲の生活環境や施策の状況等で、ア～トの各項目について、あてはまると思うものをお選びください。(項目ごとに1つ選択)

◎満足度の高い項目（満足とやや満足を合わせた順位）

「買い物等の生活の便利さ」、「ごみ処理と資源回収」など3項目が60%台

満足度の高い項目の1位は「買い物等の生活の便利さ」66.7%、2位「ごみ処理と資源回収」66.6%、3位「最寄駅へのアクセス」63.8%、4位「市役所窓口の対応」59.1%、5位「病院や診療所等の医療施設」55.4%となっている。

1位の「買い物等の生活の便利さ」は年代別では、全ての年代で概ね60%を超えており、40歳代では70.4%となっている。地域別では、柏ヶ谷地域、国分地域、大谷地域がともに77%超となっており、居住年数では全ての区分で64%を超えているが、中でも、1年未満は84.2%と高い数値となっている。

2位の「ごみ処理と資源回収」は性別では男女ともに60%台だが、性別・年代別で見ると、男性は高齢になるほど満足度が高く、女性は若い年代の満足度が低い傾向を示している。地域別では柏ヶ谷地域、上郷・下今泉地域で70%台だが、本郷地域、社家地域、門沢橋地域、では50%台となっている。

3位の「最寄駅へのアクセス」を性別・年代別で見ると、どの性別・年代でも50～60%台の数値となっている。地域別では柏ヶ谷地域が80%台、国分地域、海西地域が70%台の他、大谷地域、門沢橋地域が60%台と高い割合を示している。

◎不満足度の高い項目（不満とやや不満を合わせた順位）

「歩道・信号の設置等の交通安全対策」、「騒音・振動・悪臭等の公害対策」の2項目が30%台

不満足度の高い項目は1位「歩道・信号の設置等の交通安全対策」36.7%、2位「騒音・振動・悪臭等の公害対策」30.0%、3位「生活道路の整備」29.0%、4位「病院や診療所等の医療施設」20.4%、5位「公園・遊び場の整備」19.9%となっている。この上位5項目は、順位の変化はあるが、前回調査時も上位5位を占めていた。

1位「歩道・信号の設置等の交通安全対策」では、年代別で最も高いのは40歳代の46.3%であった。地域別では杉久保地域が47.4%で他の地域と比べると高く、続いて本郷地域41.3%となっている。居住年数では5年以上10年未満が52.2%で最も高かった。

2位「騒音・振動・悪臭等の公害対策」は年代別では30歳代が33.5%で最も高くなっている。地域別では本郷地域が48.3%で他の地域と比べると高く、続いて柏ヶ谷地域45.8%となっている。居住年数では生まれてからずっとが33.7%で最も高かった。

3位「生活道路の整備」は年代別では40歳代36.4%が最も高く、性別・年代別でも40歳代の男性が43.1%と特に高い。地域別では上郷・下今泉地域が43.8%と最も高く、次に本郷地域、国分地域が続いている。居住年数では5年以上10年未満が37.8%で最も高かった。

◎生活環境と施策の平均評価点

「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」評価の各回答者数に所定の評価点を乗じた値の和を調査回答者数で除したものを「平均評価点」とする。平均評価点は-2.00から2.00の間に分布する。この平均評価点の算出方法では「どちらとも言えない」の評価は考慮されず、「満足」と「やや満足」、「やや不満」と「不満」では点数に倍の差がつくため、順位は%評価や%評価を基準としている満足度、不満足度とは異なる結果になる場合もある。

☆評価点

「満足」×2点+「やや満足」×1点+「やや不満」×-1点+「不満」×-2点

	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	わからない	無回答	平均評価点	前回との比較
ア. 病院や診療所等の医療施設	17.0	38.4	20.7	12.1	8.3	2.1	1.4	0.44	↗
イ. デイサービス施設等の高齢者（障がい者）福祉の施設	2.8	9.9	22.3	6.1	4.1	41.3	13.5	0.01	↘
ウ. 中学生までの子どもの医療費全額助成などの子育て支援施策	27.8	17.0	17.3	2.4	2.4	27.6	5.5	0.65	↘
エ. 体育館やスポーツ施設の整備	11.2	27.7	22.1	7.8	4.2	13.2	13.7	0.34	↗
オ. 文化会館や交流館などの文化施設の整備	11.4	28.7	30.5	7.8	2.9	16.0	2.7	0.38	↗
カ. 講演会、展覧会開催等の生涯学習施策	3.7	14.9	36.3	6.7	2.8	31.5	4.1	0.10	—
キ. 市役所窓口の対応	19.8	39.3	22.8	5.8	3.4	6.9	2.0	0.66	—
ク. 災害に対する体制・対策の整備	6.0	20.3	34.9	6.9	3.6	25.2	3.1	0.18	↗
ケ. 防犯に対する体制・対策	4.9	19.8	34.3	11.1	7.4	19.2	3.4	0.04	↗
コ. 歩道・信号の設置等の交通安全対策	5.9	25.2	25.8	20.7	16.0	3.8	2.6	-0.16	↘
サ. 海老名駅周辺の自由通路や市街地整備	12.4	36.8	23.1	12.5	6.9	4.5	3.7	0.35	↗
シ. 買い物等の生活の利便さ	23.2	43.5	14.9	8.5	6.6	0.6	2.7	0.68	↗
ス. 最寄駅へのアクセス	28.8	35.0	15.3	11.9	6.0	0.7	2.2	0.69	↗
セ. 幹線道路の整備（南仲道路など市内の主要な道路）	9.7	26.4	26.6	8.3	6.9	9.6	12.6	0.24	—
ソ. 生活道路の整備（自宅周辺の幹線道路へ続く道路）	9.8	29.3	25.1	18.0	11.0	3.3	3.7	0.09	↘
タ. 下水道・排水処理施設の整備	17.9	34.2	25.0	5.6	3.5	11.5	2.5	0.57	↘
チ. ごみ処理と資源回収	24.1	42.5	20.9	6.7	2.0	1.8	2.0	0.80	↗
ツ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策	7.9	20.8	31.8	16.0	14.0	7.3	2.2	-0.07	↗
テ. 公園・遊び場の整備	10.0	29.1	28.7	13.3	6.6	9.6	2.7	0.23	↗
ト. 樹林地や田園等の緑と自然環境	15.5	35.5	28.2	8.9	3.4	6.2	2.3	0.51	↘

※ 「満足」「やや満足」「どちらとも言えない」「やや不満」「不満」「無回答」の数値は%表示

※ 前回調査対象になかった項目については「前回との比較欄」は「—」で表示

今回の調査では、全20項目の中で平均評価点がプラスとなった項目は18項目、マイナスとなった項目は2項目あった。

プラス評価が高い項目では、「ごみ処理と資源回収」0.80が最も高く、続いて「最寄駅へのアクセス」0.69、「買い物等の生活の便利さ」0.68、「病院や診療所等の医療施設」0.44と続く。

今回の調査でのマイナス評価の項目は、「歩道・信号の設置等の交通安全対策」-0.16、「騒音・振動・悪臭等の公害対策」-0.07となっている。「歩道・信号の設置等の交通安全対策」は、前回0.04からのマイナス評価だが、「騒音・振動・悪臭等の公害対策」はマイナス評価ながら、前回の-0.08から-0.07に微増している。

◎地域別評価

	柏ヶ谷	上今泉	上郷・下今泉	国分	海西	大谷	杉久保	本郷	社家	門沢橋
ア. 病院や診療所等の医療施設	0.79	0.40	0.09	0.48	0.59	0.40	0.14	-0.04	0.02	0.02
イ. 高齢者（障がい者）福祉の施設	-0.01	0.04	-0.08	0.03	0.08	0.01	0.04	-0.04	-0.14	-0.04
ウ. 医療費全額助成などの子育て支援施策	0.52	0.66	0.83	0.71	0.48	0.77	0.67	0.72	0.64	0.81
エ. 体育館やスポーツ施設の整備	0.23	0.39	0.40	0.25	0.46	0.23	0.33	0.45	0.54	0.62
オ. 文化会館や交流館などの文化施設整備	0.21	0.48	0.50	0.39	0.44	0.45	0.30	0.59	0.34	0.34
カ. 講演会、展覧会開催等の生涯学習施策	0.09	0.07	0.21	0.04	0.15	0.08	0.13	0.11	0.14	0.17
キ. 市役所窓口の対応	0.70	0.59	0.87	0.67	0.48	0.70	0.72	0.69	0.74	0.72
ク. 災害に対する体制・対策の整備	0.29	0.07	0.35	0.12	0.12	0.11	0.26	0.14	0.28	0.27
ケ. 防犯に対する体制・対策	-0.01	-0.01	0.13	0.11	0.04	0.02	-0.01	-0.17	0.06	0.10
コ. 歩道・信号の設置等の交通安全対策	-0.06	-0.19	-0.25	-0.17	-0.20	-0.02	-0.41	-0.59	0.00	-0.06
サ. 海老名駅周辺の自由通路や市街地整備	0.58	0.17	0.10	0.38	0.33	0.36	0.29	0.45	0.32	0.21
シ. 買い物等の生活の便利さ	1.01	0.45	0.19	0.97	0.62	0.88	0.50	0.14	-0.02	0.24
ス. 最寄駅へのアクセス	1.28	0.08	0.40	0.95	0.91	0.77	0.08	-0.65	-0.04	0.59
セ. 幹線道路の整備	0.41	-0.01	-0.15	0.19	0.31	0.35	0.22	0.28	0.26	0.17
ソ. 生活道路の整備	0.21	-0.01	-0.23	0.00	0.09	0.24	-0.04	-0.10	0.34	0.15
タ. 下水道・排水処理施設の整備	0.65	0.63	0.58	0.57	0.57	0.75	0.67	-0.69	0.42	0.47
チ. ごみ処理と資源回収	0.90	0.83	0.88	0.82	0.81	0.73	0.76	0.69	0.62	0.74
ツ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策	-0.39	0.02	0.25	0.03	-0.04	0.06	0.13	-0.69	-0.24	-0.15
テ. 公園・遊び場の整備	0.44	0.25	0.67	0.08	0.26	0.34	0.13	-0.45	-0.02	0.02
ト. 樹林地や田園等の緑と自然環境	0.44	0.72	0.77	0.54	0.44	0.54	0.42	0.31	0.46	0.43

地域別に評価点を見ると、「ごみ処理と資源回収」をはじめ、「医療費全額助成などの子育て支援施策」、「市役所窓口の対応」、「樹林地や田園等の緑と自然環境」、「海老名駅周辺の自由通路や市街地整備」、「講演会、展覧会開催等の生涯学習施策」、「文化会館や交流館などの文化施設整備」、「体育館やスポーツ施設の整備」、「災害に対する体制・対策」は、全ての地域でプラス評価を得ている。一方、「歩道・信号の設置等の交通安全対策」は全ての地域でマイナス評価となった。

地域によって最高評価点と最低評価点の差が大きかった項目は、「最寄駅へのアクセス」柏ヶ谷地域の1.28、本郷地域の-0.65で、差は1.93だった。続いて「下水道・排水処理」大谷地域0.75、本郷地域-0.69で1.44、「公園・遊び場の整備」上郷・下今泉地域0.67、本郷地域-0.45で1.12、「買い物等の生活の便利さ」柏ヶ谷地域1.01、社家地域-0.02で1.03となっている。

3 「総合計画」

【問9】 次のア～サの各項目について、今後さらに充実すべき施策と思いますか。

あてはまると思うものをお選びください。(項目ごとに1つ選択)

	重要	やや重要	言えない	どちらとも	ではない	あまり重要	重要ではない	わからない	無回答	平均評価点	前回との比較
ア. 中学生までの子どもの医療費全額助成などの子育て支援施策	47.0	17.6	13.4	3.1	3.3	12.4	3.3	1.02	—		
イ. 体育館やスポーツ施設の整備	17.0	31.5	28.7	9.2	3.8	6.4	3.4	0.49	—		
ウ. 文化会館や交流館などの文化施設の整備	13.3	31.2	32.1	9.8	4.3	6.4	2.9	0.39	—		
エ. 講演会、展覧会開催等の生涯学習施策	9.3	26.1	36.5	11.0	4.3	9.0	3.8	0.25	—		
オ. 市役所窓口の対応	37.1	32.3	21.1	2.8	1.5	3.1	2.2	1.01	—		
カ. 災害に対する体制・対策の整備	61.8	23.0	8.8	0.6	0.2	3.6	2.1	1.46	—		
キ. 海老名駅周辺の自由通路や市街地整備	32.9	34.7	18.9	6.0	2.6	2.4	2.6	0.89	—		
ク. 幹線道路の整備 (南伸道路などの市内の主要な道路)	30.4	32.8	22.1	4.6	1.7	5.1	3.3	0.86	—		
ケ. 生活道路の整備 (自宅周辺の幹線道路へ続く道路)	39.1	32.0	19.2	3.8	1.2	2.1	2.7	1.04	—		
コ. ごみ処理と資源回収	41.4	36.5	16.2	1.3	0.8	1.7	2.2	1.16	—		
サ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策	44.4	32.9	15.5	2.0	0.7	2.5	2.1	1.18	—		

※新規設問のため、前回数値なし

今後更に充実させる施策として最も「重要」とされたのは、「災害に対する体制・対策の整備」61.8%で、「やや重要」と合わせると84.4%に達した。次は「中学生までの子どもの医療費全額助成などの子育て支援施策」47.0%であるが、「やや重要」と合わせた数値(64.4%)で見ると、「ごみ処理と資源回収」77.9%、「騒音・振動・悪臭等の公害対策」77.3%の方が上回る形となっている。

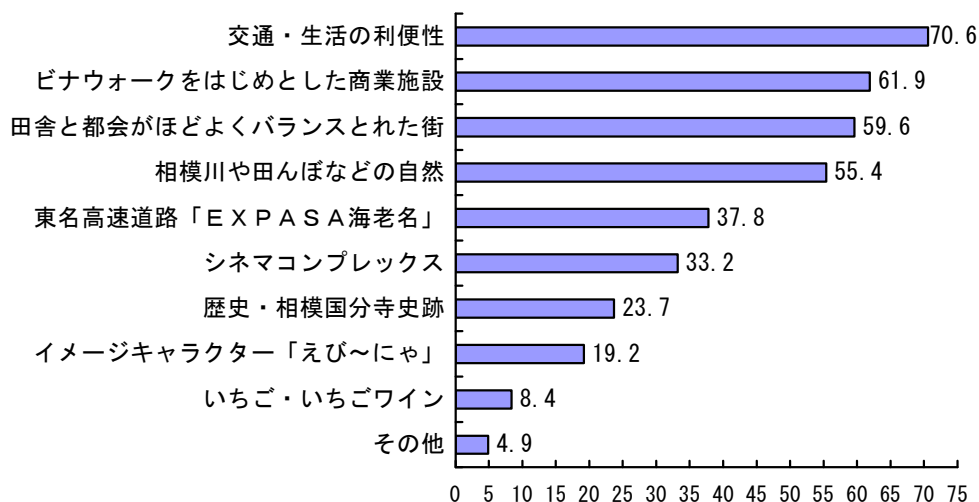
「重要ではない」で最も多かったのは「講演会、展覧会開催等の生涯学習施策」4.3%、次に「文化会館や交流館などの文化施設の整備」4.3%、「体育館やスポーツ施設の整備」3.8%、「中学生までの子どもの医療費全額助成などの子育て支援施策」3.3%と続いているが、これらの項目については、同時に「わからない」の回答も多く、評価が難しいようである。

4 「海老名の魅力」

(1) 海老名市の魅力

「交通・生活の利便性」「ビナウォークをはじめとした商業施設」が6割超

【問10】 あなたは、海老名市のどのようなところに強い魅力を感じますか。(複数選択)



海老名市で強く魅力を感じる場所は、「交通・生活の利便性」70.6%で最も高く、次いで「ビナウォークをはじめとした商業施設」61.9%、「田舎と都会がほどよくバランスとれた街」59.6%が続いている。

「交通・生活の利便性」の年代別では、65～74歳では80.0%で、他の年代でも18～24歳54.8%以外は全て60%を超えている。地域別では、本郷地域41.4%を除いた地域では全て50%以上となっている。居住年数別ではどの層も約6割となっている。

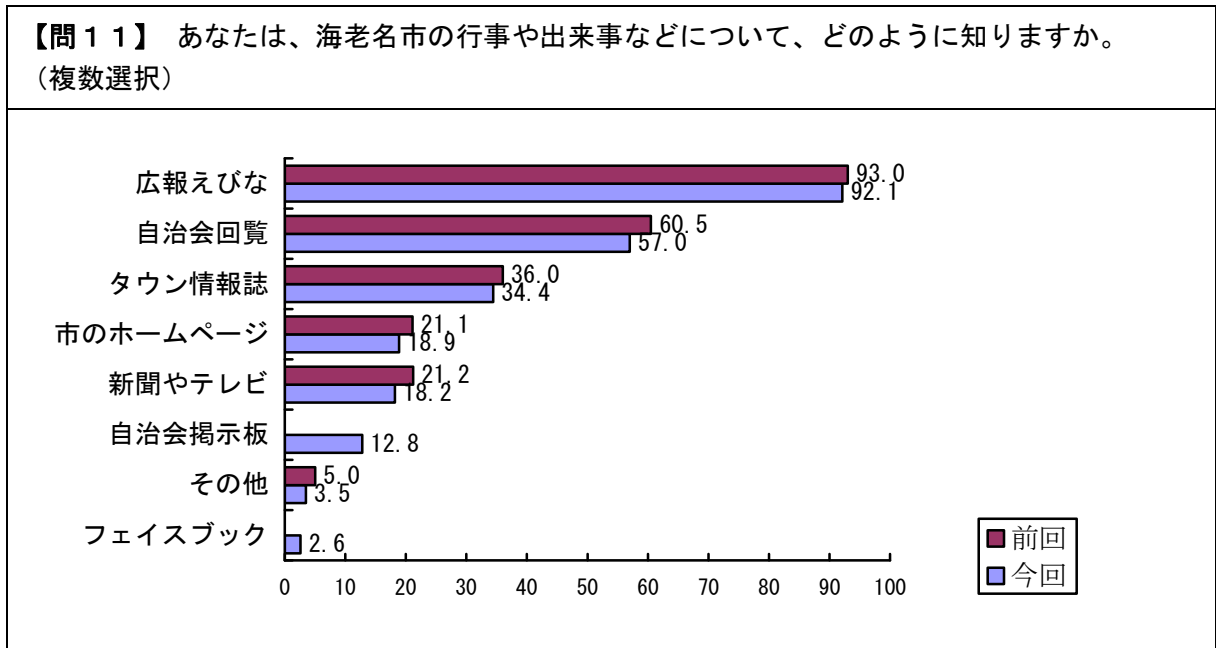
「ビナウォークをはじめとした商業施設」は、75歳以上41.4%を除く全ての年代で60%を超える高い評価となっている。地域別では、本郷地域、門沢橋地域を除く地域で50%を超えているが、本郷地域41.4%と低い結果となっている。

「田舎と都会がほどよくバランスとれた街」の地域別では、杉久保地域48.7%が最も低い結果となっている。

5 「広報・情報化」

(1) 市から発信される情報の情報源

9割超が「広報えびな」から市の情報を入手している



市の情報の入手方法について、最も高かったのは「広報えびな」92.1%で、続いて「自治会回覧」57.0%、「タウン情報誌」34.4%となっている。

性別で見ると、男女ともに「広報えびな」が最も高い。また、「市のホームページ」は男性の方が高く、「タウン情報誌」は女性の方が高い数値であった。

年代別では、年代を問わず「広報えびな」が最も高い数値であった。

居住年数別では、「自治会回覧」では、最も多い20年以上の層でも66.1%であり、前回調査時の74.2%と比較すると減少傾向が見られる。

(2) 市の広報媒体の満足度

広報えびなは5割超が「ふつう」と回答

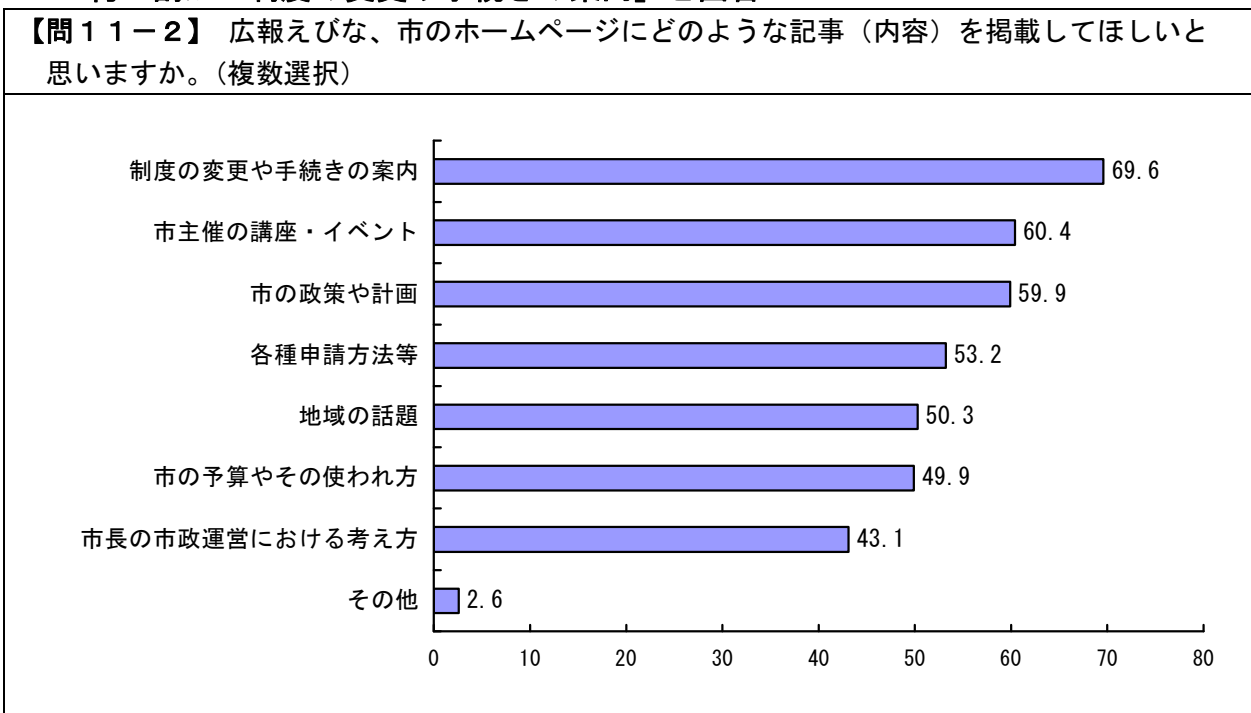
【問11-1】 現在の広報えびな、市のホームページの内容についてどう思われますか。
(項目ごとに1つ選択)

	わかりやすい	ふつう	わかりにくい	見ていない	無回答
ア. 広報えびな	30.5	50.4	3.2	4.9	11.0
イ. 市のホームページ	5.0	32.3	7.2	43.1	12.3

現在の広報えびな、市のホームページの内容についてどう思われるかについて、広報えびなでは「ふつう」50.4%、市のホームページでは「見ていない」43.1%という評価が最も高かった。続いて、広報えびなでは「わかりやすい」30.5%の回答が高かったが、市のホームページは「ふつう」32.3%であった。また、市のホームページでは「わかりにくい」が「わかりやすい」を上回る結果となった。

広報えびなは、性別、年代、地域、居住年数の全区分において「ふつう」という評価が最も高かった。市のホームページについては、性別・年代別、地域別、居住年数別で見ても、ほとんどの項目で最も高かったのが「見ていない」であった。

**(3) 市の広報媒体で掲載してほしい内容
約7割が「制度の変更や手続きの案内」と回答**



広報やホームページなどで掲載してほしい内容について、「制度の変更や手続きの案内」69.6%で最も高く、続いて「市主催の講座・イベント」60.4%、「市の政策や計画」59.9%となっている。

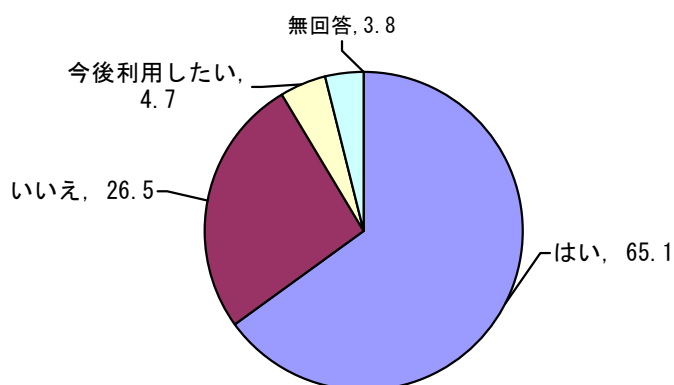
1位の「制度の変更や手続きの案内」は、年代別は40歳代が75.9%と高く、性別・年代別では女性・40歳代が80.2%と最も高い。地域別では大谷地域75.2%が最も高い数値となっている。

2位の「市主催の講座・イベント」は年代別で見ると、75歳以上47.6%を除き全ての年代で50～70%台。性別・年代別では、女性・50歳代が84.4%と突出して高い数値である。地域別では社家地域70.0%が最も高い数値である。

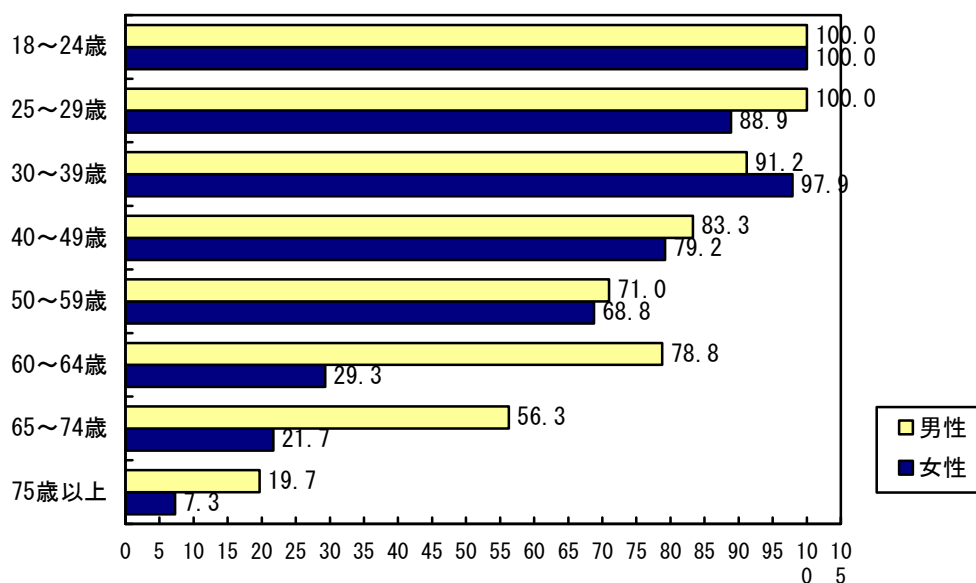
3位の「市の政策や計画」は年代別では、40歳代以上は概ね50%台であるのに対し、若年層、特に女性・25～29歳が33.3%と最も低い数値であった。

(4) インターネットの利用状況
6割以上がインターネットを利用

【問12】 あなたはインターネットを利用していますか。(1つ選択)



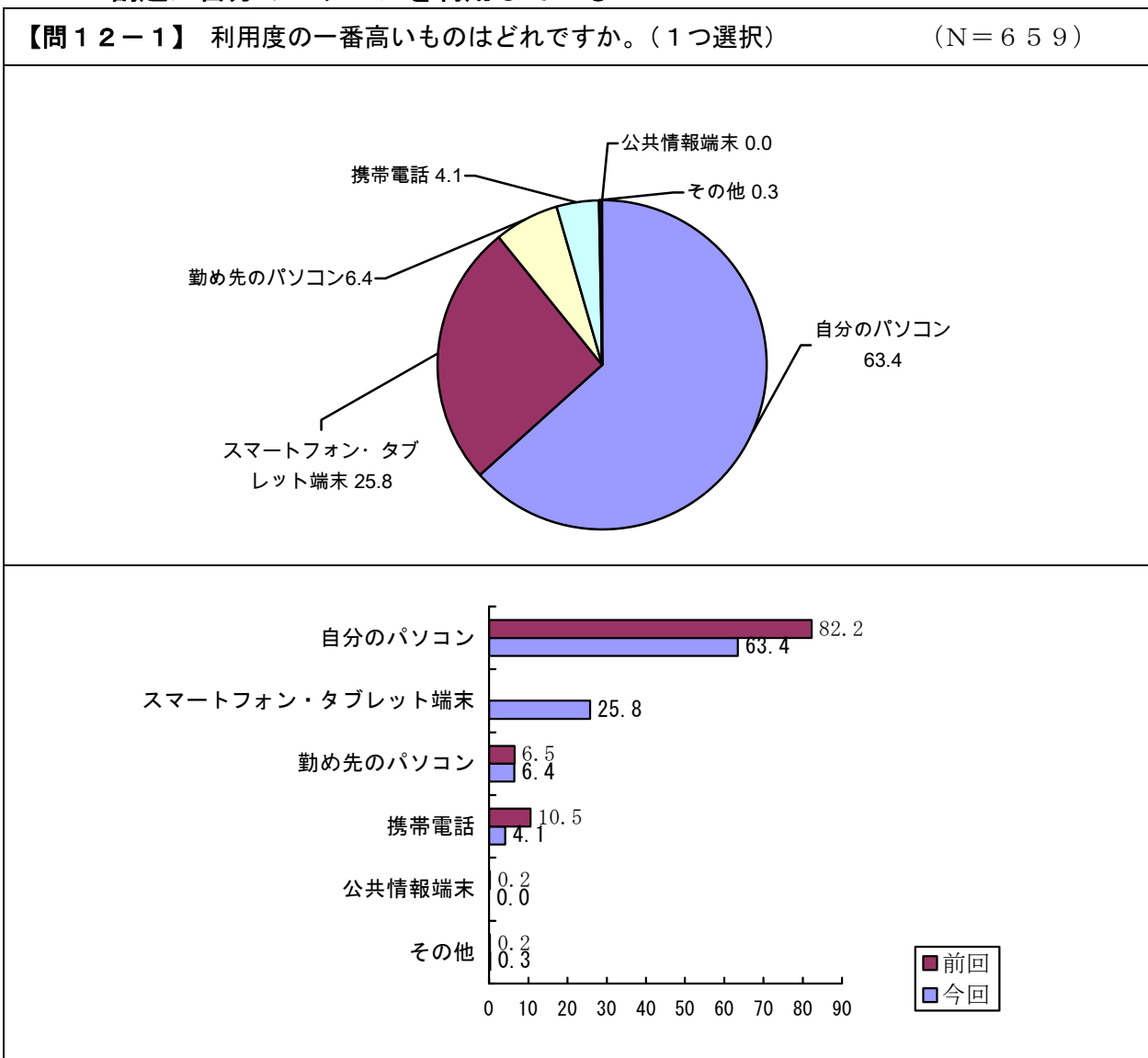
インターネット利用者



インターネットを利用していると回答したのは65.1%であり、前回調査67.3%より2.2ポイントの減少となった。

利用状況を性別ごとに見てみると、男性69.7%、女性60.9%となっている。年代別では、30歳代が95.1%で最も高い。性別・年代別で見ると男性では60～64歳まで6割に達しているのに対し、女性は60歳代から一気に3割を切っている。

(5) インターネットの利用端末の種類
9割超が自分のパソコンを利用している

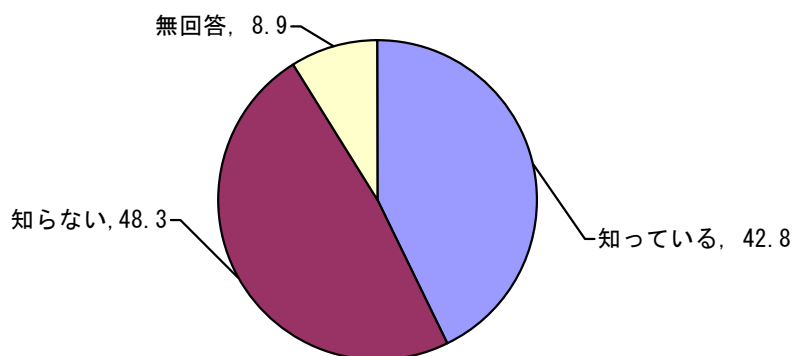


利用端末は、「自分のパソコン」が63.4%で最も高く、「スマートフォン・タブレット端末」25.8%、「携帯電話」4.1%を合わせると9割超が「自分の端末」を利用していることになる。また、「携帯電話」利用は、前回調査は10.5%であったが、スマートフォン等の急速な普及を背景に今回調査では4.1%と6.4ポイント減少している。

性別・年代でみると、全世代で男女ともに「自分のパソコン」を利用しているが、若年層ほど「スマートフォン」の利用の割合が高くなり、女性・18～24歳では70.4%と高い数値を示している。

(6) 携帯電話から、市の講座等の参加申し込み・安全安心メールの認知度 4割が「知っている」

【問13】 携帯電話から、市による講座・イベント等の参加申込みや、市からの安全安心メールの受信が出来ることを知っていますか。(1つ選択)

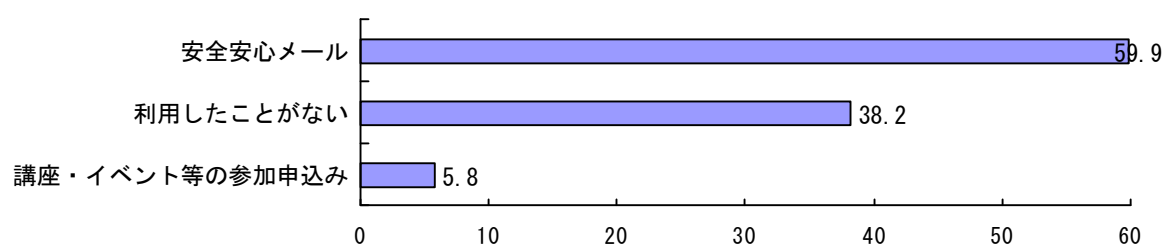


携帯電話から、市の講座等の参加申し込みや安全安心メールの受信が出来ることを知っているかについて、「知っている」42.8%、「知らない」48.3%と若干「知らない」が上回る結果となった。

性別で見ると、「知っている」が男性40.1%、女性46.0%であり、女性が5.9ポイント高い数値であった。年代別では、「知っている」が40歳代が56.2%で最も高い数値であった。

(7) 携帯電話サービスの利用について 「安全安心メール」が約5割

【問13-1】 市で提供している、携帯電話サービスを利用したことがありますか。
(複数選択) (N=434)



市が提供している携帯電話サービスの利用について、「安全安心メール」59.9%と高い数値を示しているが、一方、「講座・イベントの参加申込み」は5.8%と、「利用したことがない」38.2%に比べて少ない数値となっている。

「安全安心メール」については、性別では、男性42.7パーセントに対し女性56.6%と13.9ポイントも高く、年代別では、は18～50歳代までが概ね50%を超えるのに対し、年齢層が上がるにつれて減少し、75歳以上では13.5%と低い数値となっている。

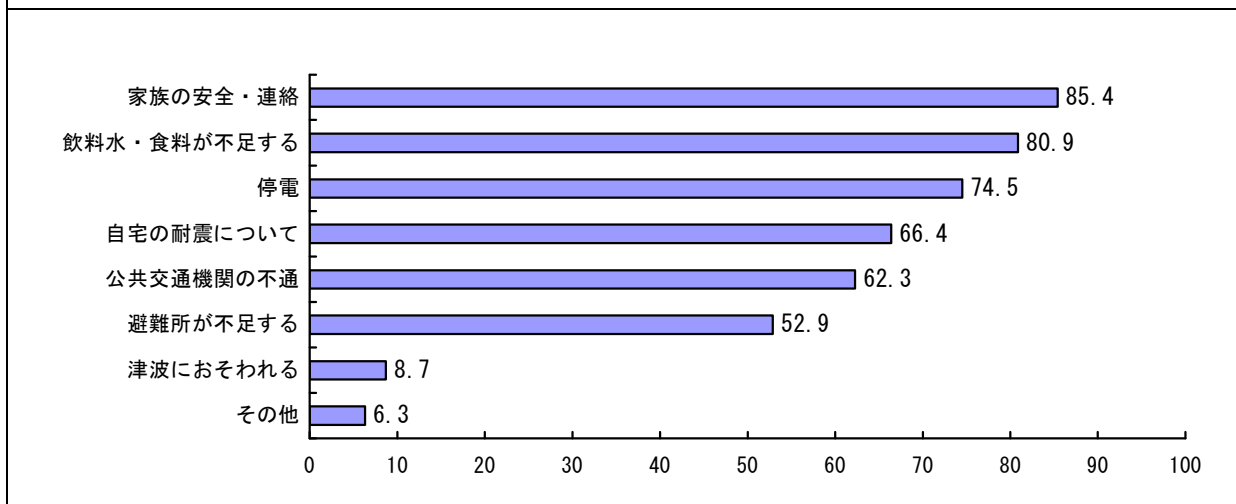
地域別では、全地域概ね50%を超えているが、柏ヶ谷地域のみ35.9%と低い数値になっている。

6 「防火・防災」

(1) 大規模災害において、不安に感じること

「家族の安全・連絡」が8割超

【問14】あなたは大規模災害が発生した場合、どのようなことに不安を感じますか。
(複数選択)



大規模災害において不安に感じることは「家族の安全・連絡」85.4%が最も高く、「飲料水・食料が不足する」80.9%、「停電」74.5%と続いている。

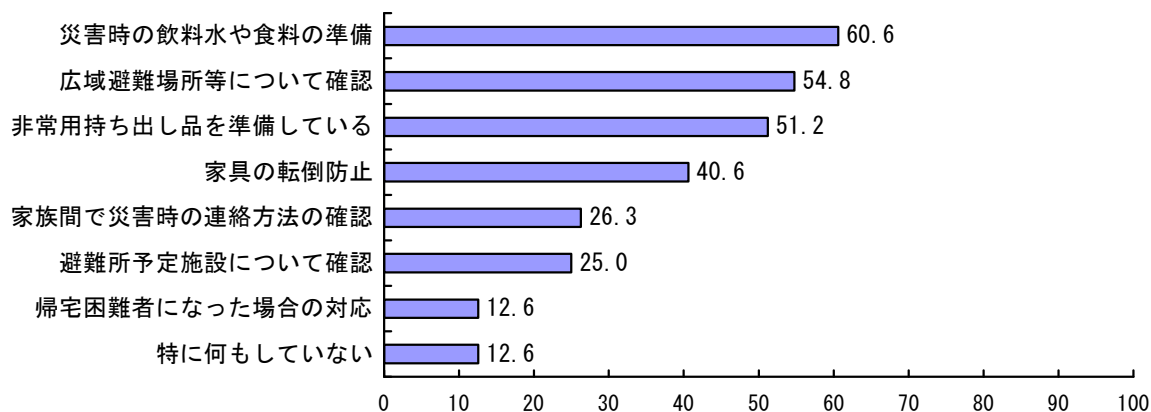
1位の「家族の安全・連絡」は、75歳以上75.7%を除いて全ての年代で80%を超えており、特に、女性・30歳代・40歳代では94%以上と高い数値を示している。地域別で見ると、全ての地域で80%を超えるが、中でも、杉久保地域92.1%と上郷・下今泉91.7%は高い数値である。なお、居住年数における差はほとんど見られない。

2位の「飲料水・食料が不足する」については、年代的な差はほとんど見られないが、性別・年齢別に見ると、女性・30歳代・40歳代が約90%と高い数値を示している。また、居住年数別では、居住年数が短いほど数値が高く、全体が70~80%を示しているのに比べ、1年未満では94.7%と高い数値を示している。

(2) 災害への備えについて

「災害時の飲料水や食料の準備」が6割

【問15】あなたの家庭では、災害への備えとして、どのようなことをしていますか。
(複数選択)



災害への備えについて、「災害時の飲料や食料の準備」60.6%と最も高く、次に「広域避難場所等についての確認」54.8%、「非常用持ち出し品の準備」51.2%と続いている。

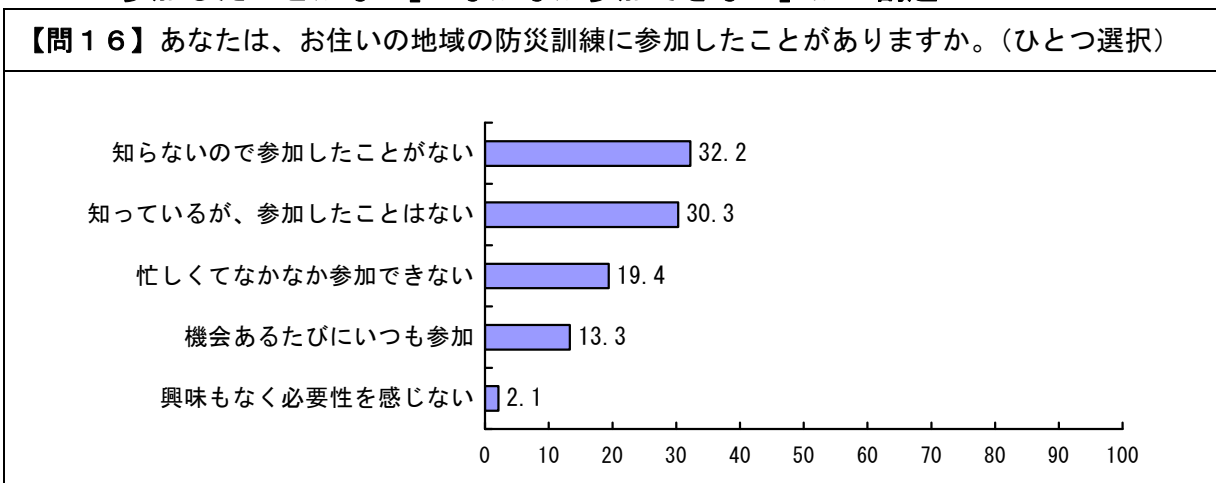
1位「災害時の飲料や食料の準備」については、全ての年代で50%を超えているが、特に女性・18～24歳と75歳以上が70%超の高い数値に対し、同じ年代の男性ではどちらも40%台と逆に低い数値を示している。また、地域別で見ると、全地域とも概ね60%の数値を示している中、社家地域のみ42.0%と低い数値となっている。また、居住年数では、全体的に50～60%台を示しているが、1年未満のみ36.8%と低い数値となっている。

2位「広域避難場所等についての確認」では、居住年数や年代が上がるにつれて数値が高くなる傾向が見られ、50歳代以上では男女ともに50%以上の数値を示しているが、男性・18～24歳26.7%、女性25～29歳29.6歳と30%に満たない数値を示す年代もある。また、地域別では、本郷地域、社家地域、門沢橋地域がそれぞれ40%台ではあるが、他の地域は50%以上を示している。また、居住年数については、1年未満の31.6%を除き、概ね50%を超える数値である。

3位「非常用持ち出し品の準備」では、全年代で概ね40%以上の数値を示しているが、男性・18～24歳、25～29歳はともに30%台と低い数値である。地域別では、全地域で40%を超えているが、中でも上郷・下今泉地域は64.6%と高い数値を示している。また、居住年数別では、1年未満15.8%を除き全て概ね50%を超えている。

(3) 防災訓練の参加について

「参加したことがない」「なかなか参加できない」が8割超



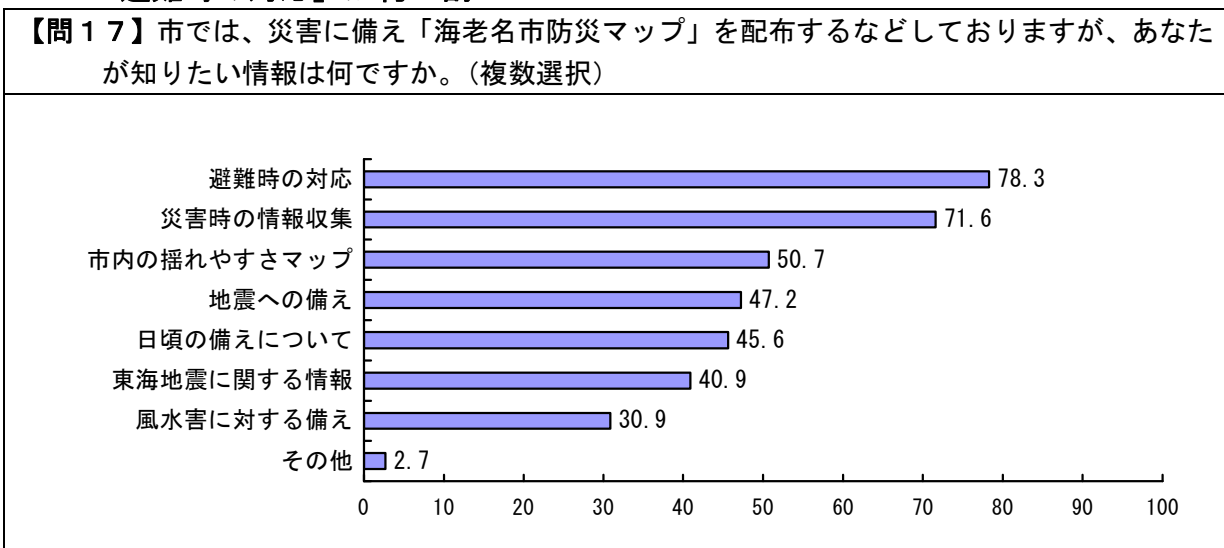
防災訓練への参加については、「知らないで参加したことがない」32.2%が最も高く、「知っているが参加したことがない」30.0%、「意思はあるが忙しくてなかなか参加できない」19.4%と続く。

1位「知らないで参加したことがない」は若年層ほど多く、18～24歳54.8%、25～29歳63.3%、30歳代53.0%となっている。地域別では、社家地域60.0%を除き概ね20～30%台。また、居住年数では1年未満が84.2%と圧倒的に高い数値である。

2位「知っているが参加したことがない」は、年代的な差はほとんど見られず、概ね20～30%台となっているが、年齢が高くなるにつれて高い数値を示す傾向がみられ、男性・75歳以上では45.9%にまで上昇している。

3位「忙しくてなかなか参加できない」は、40歳代から60歳代に多く見られ、いずれも25%以上の数値となっており、男女差もほとんど見られない。地域別では全体的に10～20%台を示しているが、最も低い海西地域の13.8%に比べ、最も高い上今泉地域では29.8%と16.0ポイントの差を生じている。

(4)「海老名市防災マップ」で知りたい情報について 「避難時の対応」が約8割



海老名市防災マップで知りたい情報としては、「避難時の対応について」78.3%が最も高く、「災害時の情報収集」71.6%、「市内の揺れやすさマップ」50.7%と続いている。

1位「避難時の対応について」は、ほぼ全ての年代で70%を超えており、全体では男性より女性の方が高い数値を示している。中でも、女性・50歳代は90.6%と高い数値である。地域別では、本郷地域58.6%を除いた全ての地域で70%以上の数値を示している。

2位「災害時の情報収集」は、25～29歳53.1%を除き全ての年代で60～70%台を示しており、特に、男性・18～24歳46.7%、25～29歳50.0%、女性・18～24歳55.6%が低い数値を示している。地域別では、全ての地域で60～70%台となっている。居住年数では全区分で概ね70%台を示している中、1年未満のみ57.9%と低い数値となっている。

3位「市内の揺れやすさマップ」では、全体的には40～50%台を占めているが、若年層の数値が高く、特に、男性・18～24歳60.0%、25～29歳72.7%、女性・18～24歳70.4%と高い数値を示している。地域別では全ての地域で40～50%台が目立った差はなく、居住年数別で見ても、1年未満の31.6%を除きほぼ50%台となっている。

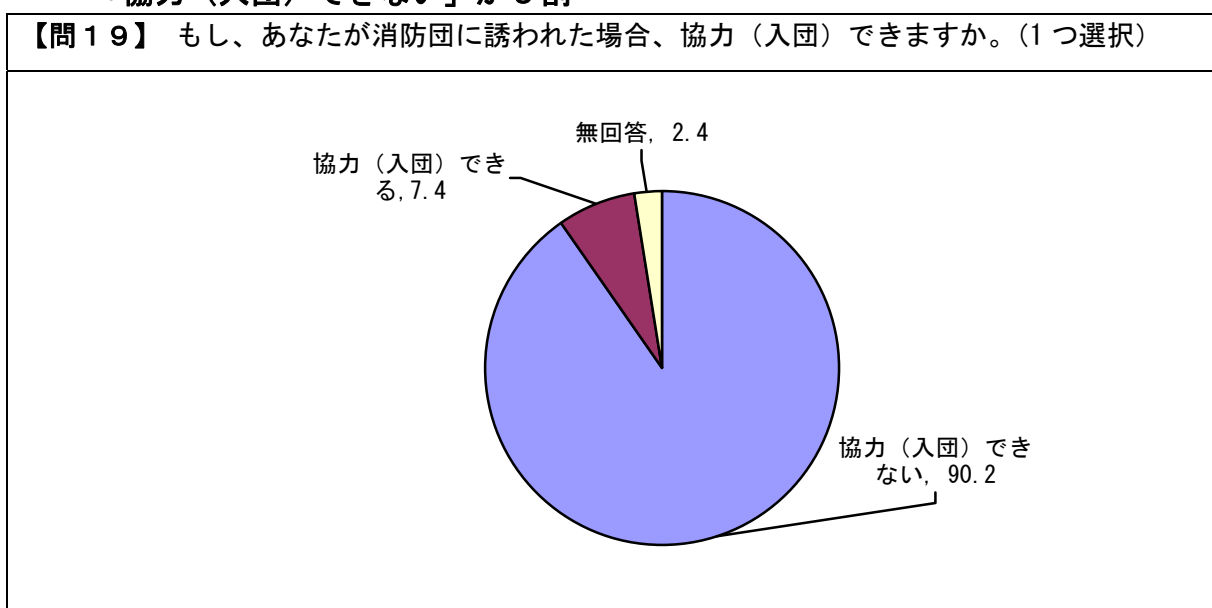
(5) 消防団の認知度

消防団の存在について8割が「知っている」と回答

【問18】 市内には、行政が設置している消防署のほかに、地域住民で組織された「消防団」がありますが、ご存知ですか。(項目ごとに1つ選択)			
	知っている	知らない	無回答
ア. 自分の地域に消防団があることを知っている	82.4	16.4	1.2
イ. 消防団員は、普段、自分の職業に就いていることを知っている。	82.5	14.0	3.5
ウ. 消防団への入団方法を知っている。	23.5	72.0	4.5

消防団について認知度は「知っている」が82.4%と高く、消防団員が他に本職を持っていることについても「知っている」82.5%と同じく高い数値を示している。一方、消防団への入団方法については「知っている」が23.5%、「知らない」が72.0%と認知度の低さが顕著な数値となった。

(6) 消防団への協力(入団)について 「協力(入団)できない」が9割

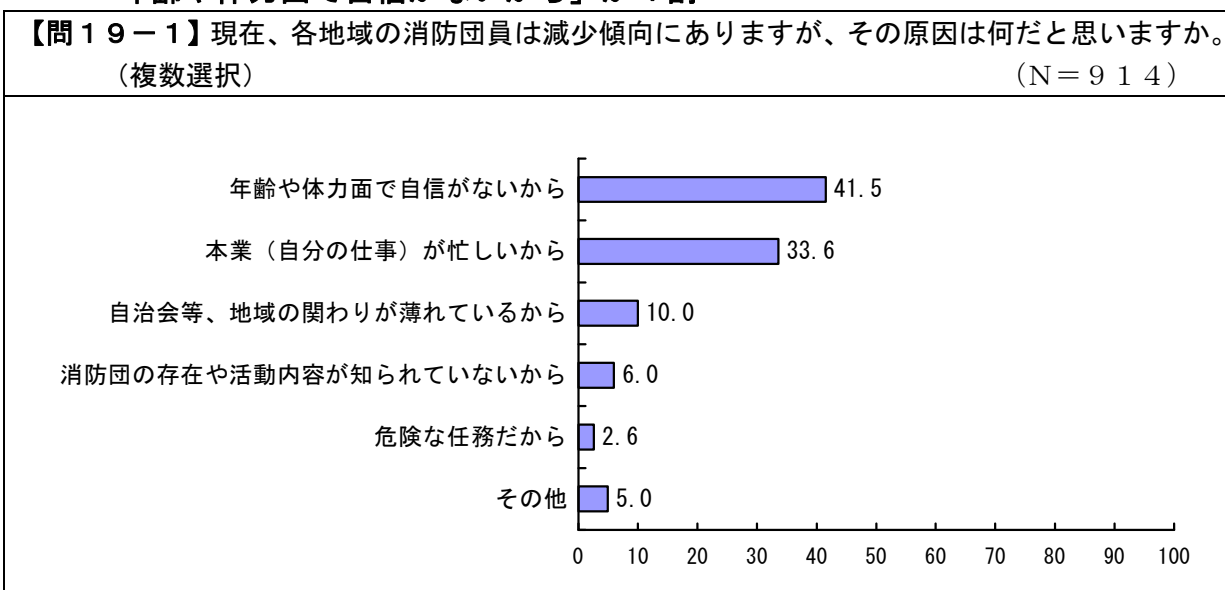


消防団に入団という形で協力することができるかという質問に対し、「協力できない」が90.2%、「協力できる」が7.4%であった。

「協力できる」について、年代別で見ると、全体的には6～9%台のなか、60～64歳では16.4%と高い数値を示している。また、年齢・性別で見ると男性・18～24歳代が20.0%、60～64歳が25.0%、女性では25～29歳が11.1%と高い数値となっている。地域別では、10%未満がほとんどだが、本郷地域13.8%と高い数値の地域もある。

(2) 消防団員の減少原因について

「年齢や体力面で自信がないから」が4割



消防団員の減少理由について、「年齢や体力面で自信がないから」41.5%、次に「本業（自分の仕事）が忙しいから」33.6%、「自治会等、地域の関わりが薄れているから」10.0%、「消防団の存在や活動内容が知られていないから」6.0%と続く。

1位「年齢や体力面で自信がないから」を年代別に見ると、当然、年齢が高くなるにつれて数値も高くなる傾向にあり、また、性別から見ると全体的に女性の方が高い数値を示している。

2位「本業（自分の仕事）が忙しいから」では、就業年代を中心に高い数値を示しており、特に、25～29歳55.6%、30歳代53.7%、40歳代56.1%が目立つ。性別や地域による違いはほとんど見られない。

3位「自治会等、地域の関わりが薄れているから」については、30～50代の選択率が高く、特に、男性・50歳代16.7%、女性・30歳代20.5%と高い数値となっている。

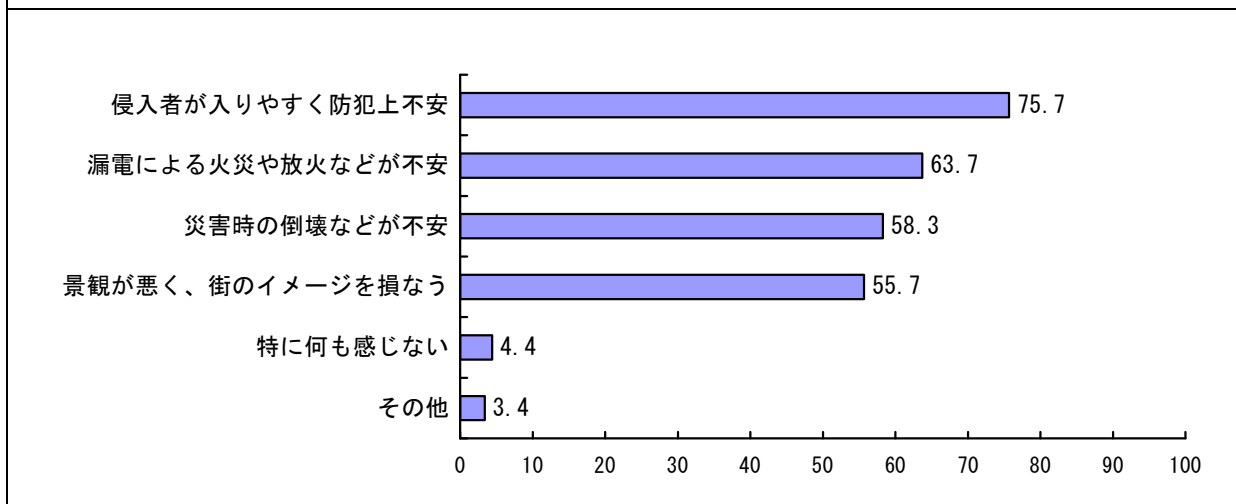
4位「消防団の存在や活動内容が知られていないから」については、若年層ほど選択率が高い傾向が顕著であり、特に、18～24歳23.7%、25～29歳15.6%は高い数値となっている。

6 「空き家問題」

(1) 空き家問題について

「侵入者が入りやすく防犯上不安」が7割

【問20】 現在、人が住まなくなり、空き家状態になっている住宅が増え、全国的に問題となっていますが、あなたが感じることは何ですか。(複数選択)



空き家問題への不安について、「侵入者が入りやすく防犯上不安」75.7%、次に、「漏電による火災や放火などが不安」63.7%、「災害時の倒壊などが不安」58.3%、「景観が悪く、街のイメージを損なう」55.7%と続く。

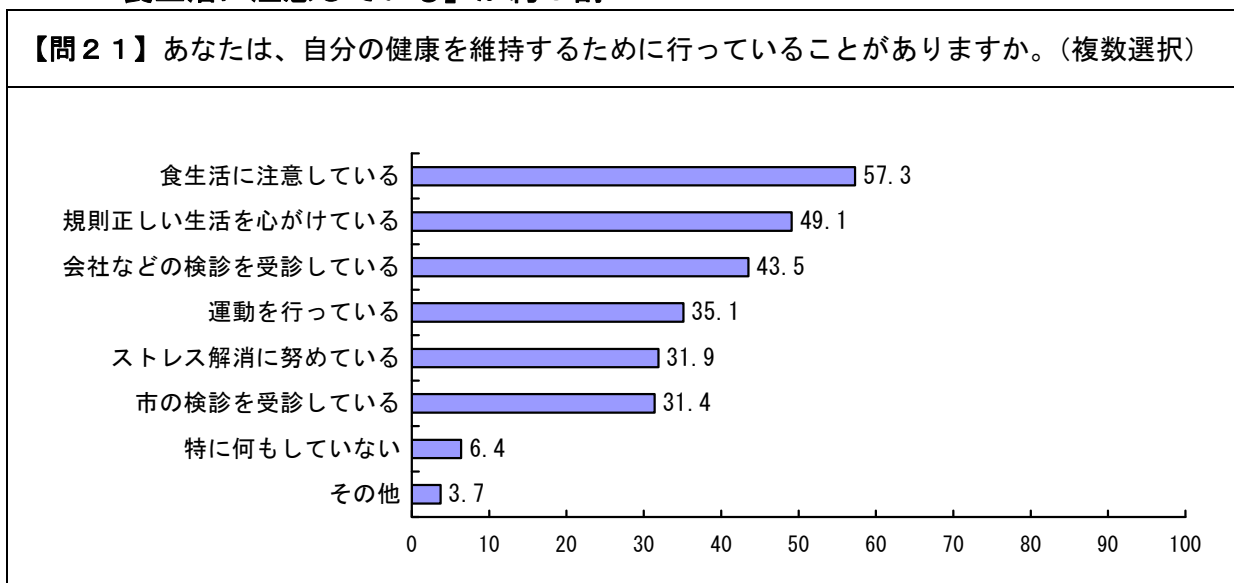
1位「侵入者が入りやすく防犯上不安」について、年代別に見ると、高齢層になるほど選択率が高くなる傾向が見られ、特に、男性・65～74歳86.6%、女性・50歳代84.4%、60～64歳81.0%、65～74歳83.7%は高い数値を示している。地域別では、全地域ともほぼ70%以上となっているが、海西地域80.7%、大谷地域80.1%は高い選択率となっている。

2位「漏電による火災や放火などが不安」、3位「災害時の倒壊などが不安に」についても、選択率は1位と同様に高齢層ほど高くなる傾向が見られるが、地域別での差は特に見られない。

7 「健康・スポーツ」

(1) 健康維持について

「食生活に注意している」が約6割



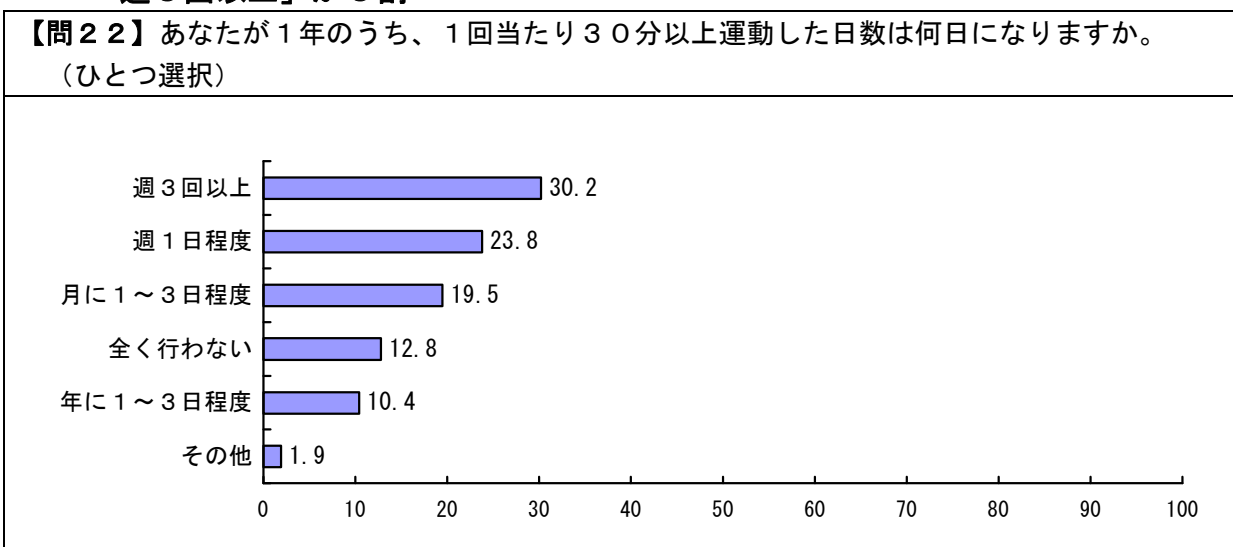
健康維持のために行っていることとしては、「食生活に注意している」57.3%、次に「規則正しい生活を心がけている」49.1%、「会社などの検診を受診している」43.5%と続く。

1位「食生活に注意している」を年齢別に見ると、高齢になるにつれて選択率が高くなる傾向が見られる。これは他の項目でも多く見られ、高齢になるほど健康への関心も高いことの現れと推測される。性別では男性より女性の方が全般的に選択率が高く、特に、65～74歳82.6%、75歳以上82.9%と高い数値となっている。地域別ではほぼ全ての地域で50%台である。

2位「規則正しい生活を心がけている」も1位と同様の傾向である。

3位「会社などの検診を受診している」は就業年代、6位の市の検診を受診しているは高齢者層にそれぞれ多いが、合計すると74.9%となり、何らかの健康診断等を利用していることになる。

(2) 運動頻度について 「週3回以上」が3割



運動頻度について、最も高いのは「週3日以上」30.2%、次に「週1日程度」23.8%、「月に1~3日程度」19.5%と続く。

1位「週3日以上」を年齢別で見ると、30歳代、40歳代が10%台と低い以外は全て20%を超えている。特に、高齢者層の数値が高く、65~74歳50.2%、75歳以上47.6%を示している。男女別で見ても同じ傾向である。地域別では、社家地域を除き全て20%を超えているが、特に、門沢橋地域34.0%、柏ヶ谷地域33.9%は高い数値を示している。

2位「週1日程度」を年齢別で見ると、18~24歳31.0%が最も高く、次に40歳代30.5%、その他の年代でも概ね20%台を示している。

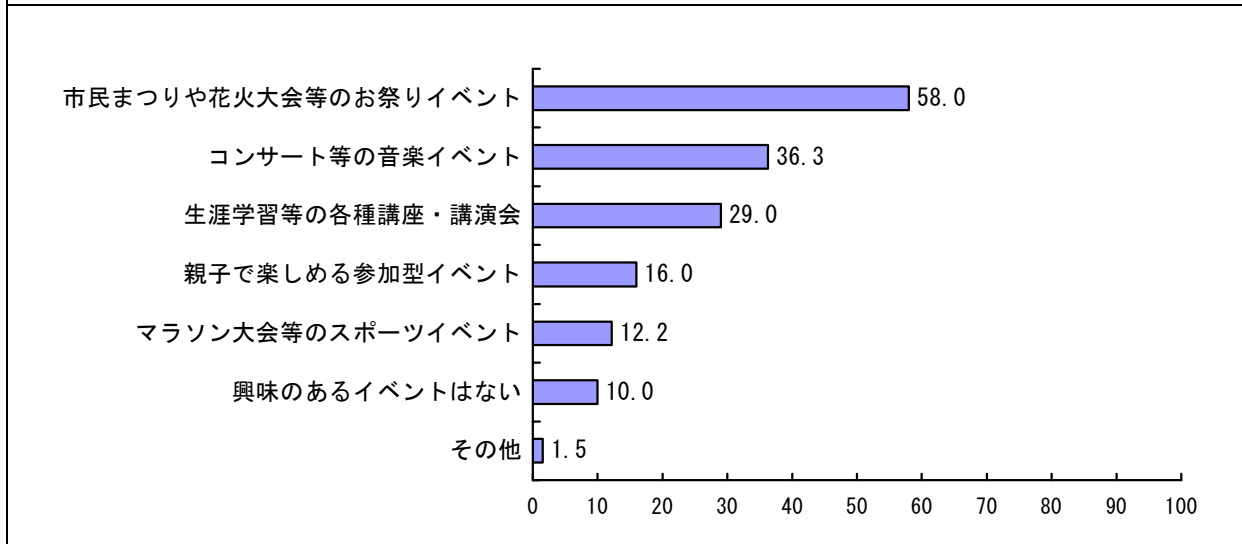
3位「月1~3日程度」を年代別で見ると、若年層が全体的に20%を示しており、年代・性別から最も高いのは男性・30歳代32.4%となっている。また、地域別では杉久保地域31.6%、社家30.0%が最も高い。

7 「イベント」

(1) 参加したいイベントについて

「市民まつりや花火大会等のお祭りイベント」が約6割

【問23】海老名市では、市民まつりや講演会など様々なイベントを開催していますが、あなたが参加したいと思うイベントは何ですか。(複数選択)



参加したいイベントについて、最も高いのは「市民まつりや花火大会等のお祭りイベント」58.0%、次に「コンサート等の音楽イベント」36.3%、「生涯学習等の各種講座・講演会」29.0%と続く。

1位「市民まつりや花火大会等のお祭りイベント」を年齢別で見ると、若年層の選択率が多く、18歳から50歳代までの層で全て60%以上の高い数値を示しており、中でも30歳代では75.6%となっている。地域別では、ほぼ全ての地域で50%以上となっているが、特に、社家地域82.0%、上郷・下今泉地域70.8%は高い数値である。

2位「コンサート等の音楽イベント」は、50歳代以降で選択率が高く、特に女性・50歳代51.6%、60～64歳53.4%、65～74歳50.0%と高い選択率となっている。地域別では、大谷地域45.4%、社家地域40.0%が特に選択率が高い。

3位「生涯学習等の各種講座・講演会」を年代別で見ると、特に60～64歳の選択率が高く、男女とも40%を超えている。

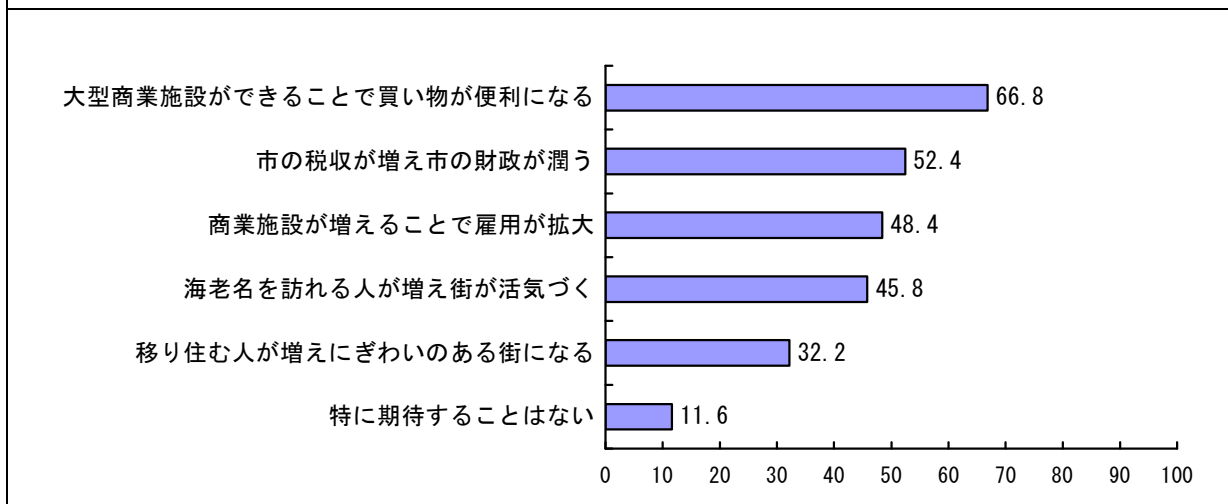
4位「親子で楽しめる参加型イベント」は、全体では4位だが、子育て世代の選択率は高く、30歳代では47.0%、特に女性は51.0%と高い数値を示している。

8 「まちづくり」

(1) まちづくりで期待することについて

「大型商業施設ができることで買い物が便利になる」が約7割

【問24】現在、海老名駅西口地区（JR海老名駅北側）で土地区画整理事業によるまちづくりが進められていますが、あなたが期待することは何ですか。（複数選択）



海老名駅西口地区（JR海老名駅北側）での土地区画整理事業によるまちづくりに期待することについて、最も高いのは「大型商業施設ができることで買い物が便利になる」66.8%、次に「市の税金が増えて財政が潤う」52.4%、「商業施設が増えることで雇用が拡大」48.4%と続く。

1位「大型商業施設ができることで買い物が便利になる」を年齢別で見ると、全体的に60%以上と高い選択率だが、特に、若年層の選択率が多く、18歳から30歳代までの層で全て70%以上の高い数値を示しており、中でも20歳代では89.8%、女性・25～29歳では96.3%にまで上がる。地域別では、ほぼ全ての地域で60%台となっているが、上郷・下今泉地域では83.3%と高い数値を示している。

2位「市の税金が増えて財政が潤う」については、年代別では40歳代以降で選択率が50%を超え、徐々に高くなる傾向が見られる。地域別では、全ての地域で40%以上を示しているが、上郷・下今泉地域と門沢橋地域がともに60.4%と選択率が特に高い。

3位「商業施設が増えることで雇用が拡大」を年代別で見ると、18～24歳31.0%を除き全ての年代で40%を超えている。特に女性の選択率が高い傾向にあり、25～59歳までの全ての世代と65～74歳は50%以上、特に50～59歳では59.4%となっている。

9 「環境・資源対策」

(1) 環境にやさしい生活の取り組みについて

全ての項目で「常に実施」「ときどき実施」合わせて7割超

【問25】日常生活の中でできる環境にやさしい生活（エコライフ）の取り組みの主なものですが、あなたが取り組んでいることは何ですか。（項目ごとに1つ選択）	常に実施	ときどき実施	今後実施したい	ない	実施するつもりはない	わからない	無回答
ア. 冷暖房機器の設定温度を高め、低めにしている	51.9	34.7	5.6	2.9	1.5	3.4	
イ. 照明やテレビなど、こまめにスイッチを消している。	62.4	29.3	4.5	1.2	0.2	2.4	
ウ. 使っていない電化製品のコンセントをこまめに抜いている。	37.7	35.1	16.1	6.7	1.6	2.8	

「ア. 冷暖房機器の設定温度を高め、低めにしている」について、「常に実施」51.9%、「ときどき実施」34.7%となっており、合計すると86.6%となる。年代別では、「常に実施」は高齢層になるほど高く、60～64歳、65～74歳でともに60.0%を示し、「ときどき実施」は逆に若年層ほど高くなり18～24歳45.2%のほか25から29歳、30歳代でも40%を超えている。地域別では常に実施の全体が40～50%の中、杉久保地域のみ63.2%と高い数値を示している。

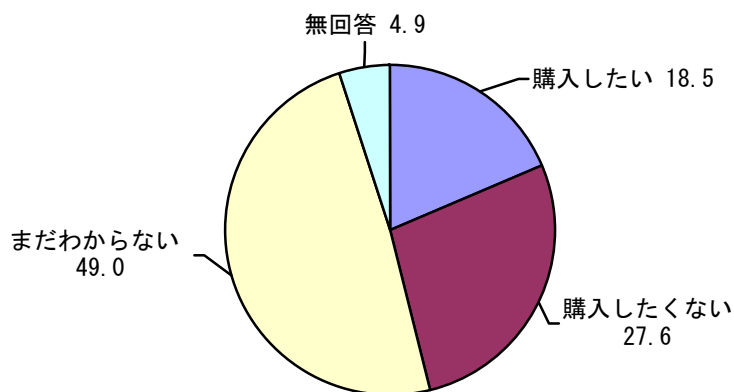
「イ. 照明やテレビなど、こまめにスイッチを消している」では、「常に実施」62.4%、「ときどき実施」29.3%となっており、合計すると91.7%となる。年代別では、アと同様の傾向であり、「常に実施」は50歳以上の全ての年代で60%以上を示し、「ときどき実施」は18～24歳の45.2%が最も高い。地域別では常に実施は全て50%以上だが、本郷地域79.3%、杉久保地域71.1%が特に高い数値を示している。

「ウ. 使っていない電化製品のコンセントをこまめに抜いている」は、「常に実施」37.7%、「ときどき実施」35.1%、合計でも72.8%の実施率に留まっている。年代・性別別で見ると、女性は高齢層になるにつれて実施率が高くなるが、男性は65～74歳42.9%以外は全ての年代で30%台となっている。また、地域別で見ても常に実施は概ね30～40%を示しており、目立った差は見られない。

(2) 電気自動車の購入について

「購入したい」は約2割

【問26】あなたが自動車を新規に購入または買い替えることになった場合、電気自動車を購入したいと思いますか。(ひとつ選択)



電気自動車の購入希望について、「まだわからない」49.0%が最も多く、次に「購入したくない」27.6%、「購入したい」18.5%と続く。

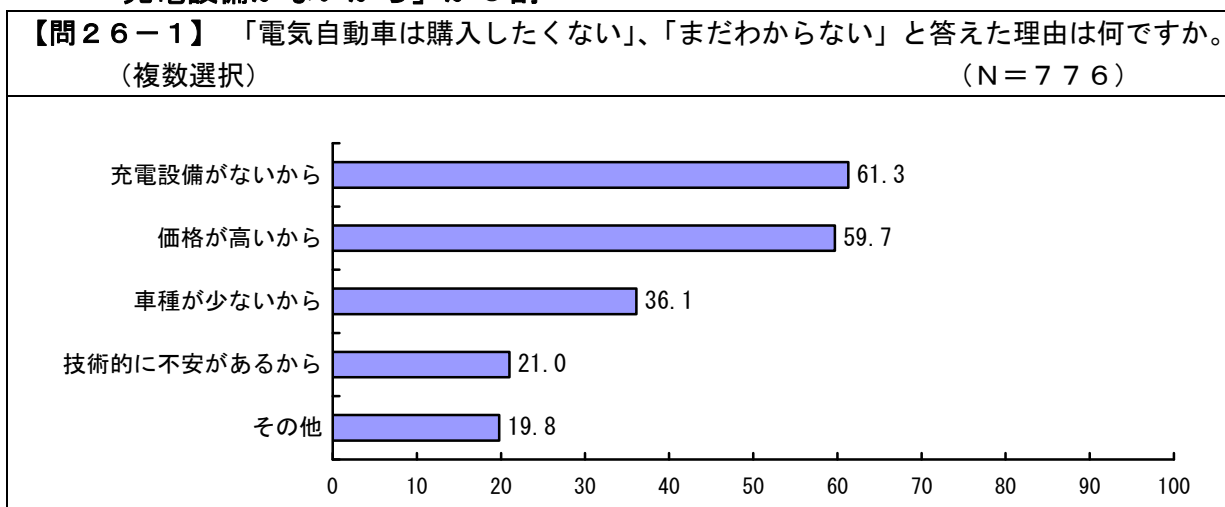
「購入したい」を年代別に見ると、全体的に10%台の中、50歳代のみ24.1%を示しており、男女別でも50歳代が最も高い。地域別では、門沢橋地域9.4%以外は全て10～20%だが、中でも、本郷地域27.6%、海西地域24.4%が高い。

「購入したくない」については、全体的にほぼ20%台に納まっている。性別・年代別では、男性は18～24歳46.7%が高いが、その他の年代では全て30%台である。女性は10～20%の間で推移しているが、60歳以上の年代は全て20%以上を示している。

「まだわからない」については、若年層～中年層に比較的多く、特に、25～29歳61.2%、30歳代51.8%、40歳代58.6%となっている。

(3) 電気自動車の購入したくない理由について

「充電設備がないから」が6割



電気自動車を「購入したくない」、「まだわからない」の回答理由として、「充電設備がないから」が61.3%と最も高く、「価格が高いから」59.7%、「車種が少ないから」36.1%、「技術的に不安があるから」21.0%と続く。

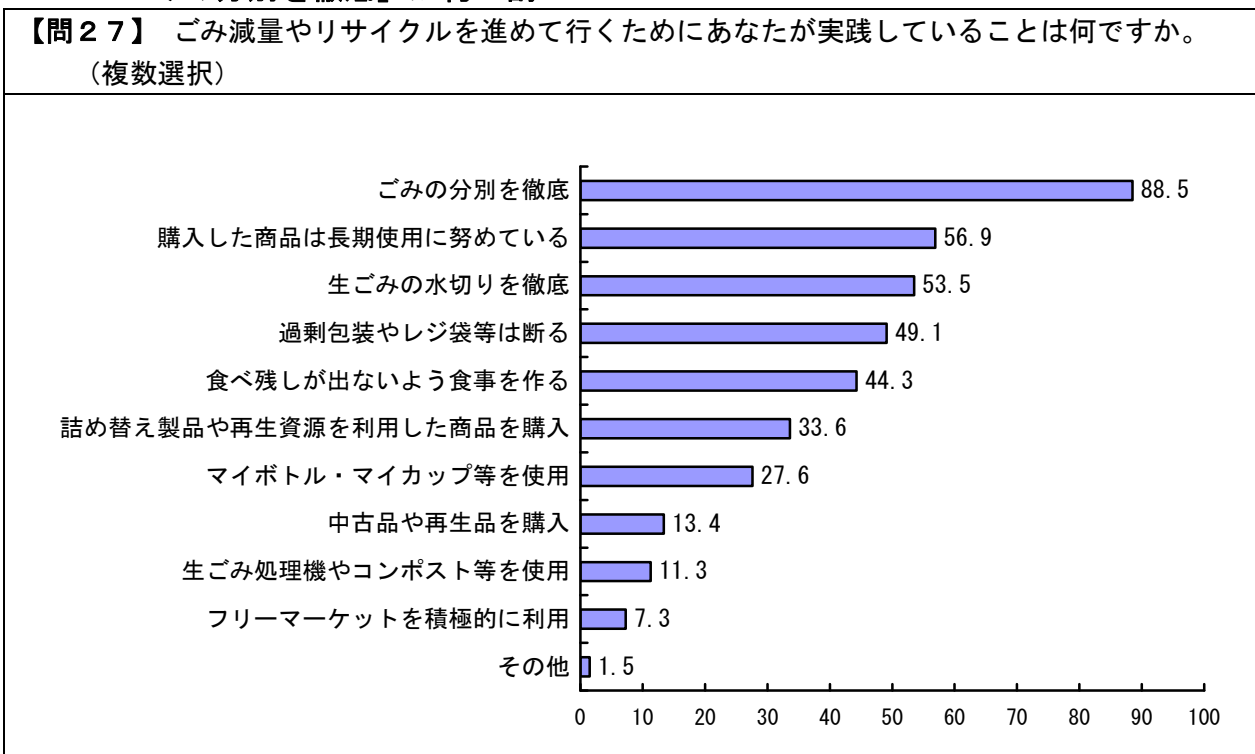
「充電設備がないから」を年代別に見ると、25～59歳の年代が全て60%を超えている。特に、男性・25～29歳が80.0%と最も高く、また40歳代は男女ともに70%を超えている。

「価格が高いから」については75歳以上31.0%を除き、全ての年代でおおむね50%以上を示している。性別・年代別では、男性・18～24歳が76.9%、女性・50歳代70.8%、60歳代71.4%と高い数値である。地域別では全体的には50～60%だが、門沢橋地域のみ70.8%と高数値を示している。

「車種が少ないから」については、25～49歳代に比較的多く、この年代は全て40%台であり、特に、男性40～49歳代50.6%、女性・25～29歳代50.0%、30～39歳代53.2%と高い数値を示している。地域別では、社家地域が50.0%と高い数値である。

「技術的に不安があるから」については、18～25歳代に多く34.3%となっており、男性では38.5%、女性でも31.8%となっており、他の年代と比較して高い数値である。

(4) ごみの減量化やリサイクルについて 「ごみの分別を徹底」が約9割



ごみ減量化を進めるための取組みについて、「ごみの分別を徹底」88.5%が最も高く、「購入した商品は長期使用に努めている」56.9%、「生ごみの水切りを徹底」53.5%と続いている。特に、「ごみの分別を徹底」は、50歳代以上では全て90%以上と高い数値を示している。

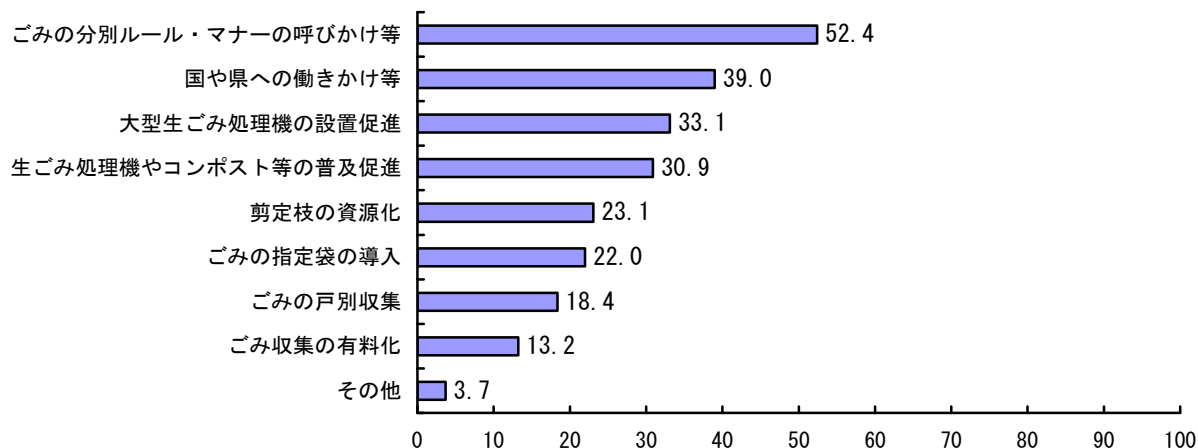
性別で見ると、全ての項目で女性の方が男性より高い選択率となったが、「ごみの分別を徹底」については、男女差はほとんど見られない。

年代別で見ると、「ごみの分別を徹底」「生ごみの水切りを徹底」「生ごみ処理機やコンポストを使用」において年代が上がるにつれて選択率が高くなる傾向が見られる一方、「中古品や再生品を購入する」では逆に年代が下がるほど選択率が高くなる傾向が見られた。

地域別では、本郷地域において「生ごみ処理機やコンポストを使用」90.8%、「食べ残しが出ないよう食事を作る」55.2%、「購入した商品は長期使用に努めている」75.9%と他の地域と比較して高い数値となっている。門沢橋地域においては「詰め替え製品や再生資源を利用した商品を使用」20.8%、「マイボトル・マイカップ等を使用」15.1%と他地域と比較して低い数値であった。

(5) ごみ減量化・資源化の今後の取り組みについて
 「ごみの分別ルール・マナーの呼びかけ等」が5割

【問28】 ごみ減量化・資源化を進めるにあたり、どのような取組みが効果的だと思いますか。
 (複数選択)



ごみ減量化・資源化を進めるための今後の取組みについて、「ごみの分別ルール・マナーの呼びかけ等」52.4%が最も高く、「国や県への働きかけ等」39.0%、「大型生ごみ処理機の設置促進」33.1%と続いている。

性別で見ると、「ごみ収集の有料化」と「ごみの指定袋の導入」で、女性が男性より5ポイント以上低い数値を示している。一方で、性別・年代別で見ると、「ごみの指定袋の導入」が、全体的には10～20%であるのに対し、女性・18～24歳は40.7%と高い数値となっている。

地域別に見ると、「ごみの戸別収集」で選択率が高いのは、本郷地域27.6%、門沢橋地域26.4%、社家地域24.0%となっている。また、「大型生ごみ処理機の設置促進」については、全体的には20～30%台となっているが、本郷地域では17.2%と低い数値となっている。また、上今泉地域では17.0%と低い数値となっている。

海老名市政アンケート調査

〈平成25年度調査〉

平成25年9月発行

調査実施及び発行

海老名市役所 市民協働部地域自治推進課市民相談係

〒243-0492 海老名市勝瀬175番地の1

TEL 046-235-4567
